アフターサービス

●保証書（別紙参照）

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から１年間です。

●対象部分機器

本体（消耗部品は除く）

●修理をご依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名（品番）、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。
※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。
※修理品の取り付け・取り外しにかかる費用は補償いたしかねます。

1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

・下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
・電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
・紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間　9：00 ～ 17：00　月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

お客様ご相談センター　フリーコール 0120-998-036

本機のアップデート情報、最新の取扱説明書、専用ビューアソフトは随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。
(https://www.yupiteru.co.jp/)

株式会社ユピテル
〒108-0075 東京都港区港南1-6-31

6SS2503
ver 1.0

SUPER NIGHT

Yupiteru

カメラ一体型ドライブレコーダー

Y-113c

取扱説明書 12V車対応

画面自動オフ機能 搭載

動画記録モード時に無操作で画面を自動的に OFF する時間を選択できます。（初期値：30 秒後）

このたびはユピテル製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本機で使用する専用ビューアソフトは、付属のmicroSDカード内に収録されていません。お手数ですが、弊社ホームページからダウンロードしてご利用ください。（https://www.yupiteru.co.jp/）

⚠ 事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず電源OFFしてからmicroSDカードを抜いて保管してください。

⚠ 電源ONの状態でmicroSDカードの抜き差しを行わないでください。microSDカード破損の原因となります。必ず電源OFF後、電源ランプが３秒以上消灯したことを確認し、microSDカードの抜き差しを行ってください。

⚠ SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。

確認とご注意

安全上のご注意 …… 4

使用上のご注意 …… 8

もしも事故が起きたら… …… 10

SDカードをフォーマットする …… 12

基礎知識

各部の名称と働き …… 14

1. 付属品 …… 16
2. 別売品 …… 17
3. 付属品・別売品の購入について …… 17

SDカードの取り外し/装着 …… 18

1. SDカードを本体から取り外す …… 18
2. SDカードを本体へ装着する …… 18

動画記録モード …… 19

録画について …… 21

1. 常時録画(通常録画) …… 21
2. イベント記録(Gセンサー記録、ワンタッチ記録) … 22

駐車記録について …… 24

1. 駐車監視モード(タイムラプス、動体検知) … 24
2. 駐車監視モード(タイムラプス/動体検知)への切替方法 …… 26
3. 警報機能 …… 28

上書きモードについて …… 29

メンテナンスについて …… 31

初期値について …… 32

すぐに使う

本機の取り付け …… 33

1. 本機を取り付ける …… 34
2. 電源を接続する …… 36

別売品の取り付け …… 37

1. 12V/24V対応電源直結コード(OP-E1159)の接続方法 …… 37
2. マルチバッテリー(OP-MB4000)の接続方法 … 39
3. 駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5L)の接続方法 …… 43

電源ON ～ OFFまでの手順 …… 47

1. 電源ON(録画を開始する) …… 47
2. 録画を停止する …… 48
3. 録画を再開する …… 48
4. ワンタッチ記録をする …… 49
5. 音声録音をON/OFFする …… 49
6. 画面表示をON/OFFする …… 50
7. 電源OFF(録画を停止する) …… 50

カスタマイズして使う

設定メニューの表示方法 …… 53

1. 設定メニューを表示する …… 53
2. 録画を再開する …… 53

設定メニュー …… 54

SD初期化(フォーマット) …… 56

1. SDカードをフォーマットする …… 56

再生する

再生モードの表示・再生方法 …… 57

1. 再生モードを表示する …… 57
2. 本機で録画ファイルを再生する …… 57
3. 再生中の録画ファイルを一時停止する(操作メニューを表示する) …… 58
4. 録画を再開する …… 59

再生モード …… 60

録画ファイルの保護/保護解除・消去について …… 62

1. 録画ファイルを保護/保護解除する …… 62
2. 録画ファイルを消去する …… 63

専用ソフト

専用ビューアソフトで再生する …… 64

1. 準備する …… 64
2. 専用ビューアソフトを起動する …… 64
3. 録画ファイルを再生する …… 64
4. 専用ビューアソフトを終了する …… 65

専用ビューアソフト …… 66

1. 専用ビューアソフトの画面について …… 66

その他

録画ファイルの読み出しについて … 69
1. 専用ビューアソフトを使用せずに録画ファイルを再生する …… 70
こんなときは …… 71
故障かな？と思ったら …… 73
仕 様 …… 76
microSDカード対応一覧表 …… 78
1. 録画時間の目安 …… 78
2. イベント記録の最大記録件数 …… 78
アフターサービス …… 裏表紙
1. お客様ご相談センター …… 裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

●危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。

⚠ 注意：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

絵表示について

❗ 必ず実行していただく「強制」内容です。

🚫 してはいけない「禁止」内容です。

⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

☛ 関連するページを示します。

●安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警 告

❗ 異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

＜異常な状態の例＞

・内部に異物が入った
・水に浸かった
・煙が出ている
・変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

☛ 裏表紙「アフターサービス」

❗ 心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。

❗ 持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。

❗ 本機を長時間使用しない場合、本体から電源コードを外してください。

車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

🚫 サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

🚫 本機を次のような場所に保管しないでください。

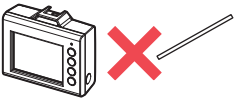
・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
・湿気やほこり、油煙の多い所
・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

🚫 本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れたり、加熱したりしないでください。

破裂、発火、やけどの原因となります。

🚫 穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。

感電や故障の原因となります。



病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。
電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。
爆発や火災の原因となります。

本機を改造しないでください。
故障の原因となり保証を受けることができません。また、それによって生じた損害に関しまして当社は一切の責任を負いません。

SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

注 意

結露したまま使い続けないでください。
故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

落としたり、強いショックを与えないでください。
破損、故障の原因となります。

各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。
故障の原因となります。

濡れた手で操作しないでください。
感電の原因となります。

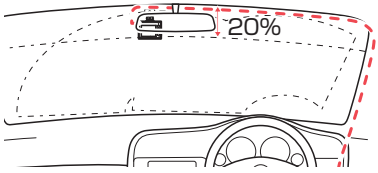
本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。
故障の原因となります。

本機は精密機械です。
静電気/電気的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

●取り付けについて

警 告

取り付けは、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
※フロントガラスの下の縁から15㎝以内の取り付けが可能になりましたが、上部に比べ本機が高温になりやすいため、弊社は上部20%への取り付けをお勧めします。



取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付けてください。
誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。
万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。

一部の運転支援システム装着車の場合、取り付け位置によっては制御に影響を及ぼすおそれがあります。
取り付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

⚠ 注 意

取り付けは確実に行ってください。また定期的に点検を行ってください。

本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

突起部分などにご注意ください。

取り付けや取り外しの際、突起部分などでケガをする恐れがあります。

接続部は確実に奥まで差し込んでください。

動作しない、火災や感電、故障の原因となります。

テレビ/ラジオアンテナ付近に設置しないでください。

テレビ/ラジオ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。

●電源コードについて

⚠ 警 告

電源コードは確実に差し込んでください。

接触不良を起こして火災の原因となります。

お手入れの際は、電源コードを抜いてください。

感電の原因となります。

シガーライターソケットは単独でご使用ください。

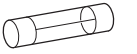
タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭いてください。

接触不良を起こして火災の原因となります。

指定以外のヒューズは使用しないでください。

指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。

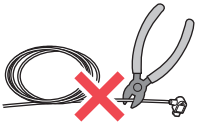


指定された電源電圧車以外では使用しないでください。

火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

コードを引っ張ったり、傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。

故障や感電の原因となります。

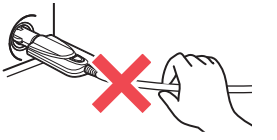


⚠ 注 意

車両を停止(ACC OFF)してもシガーライターソケットに常時電源が供給される車種の場合、ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。

シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

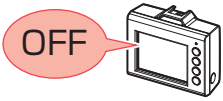
コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずコードを持たずに抜いてください。



●SDカードについて

⚠注 意

⚠ SDカードの出し入れは、本機の電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してから行ってください。



⚠ SDカードは一方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。

無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

●本機の操作・運転について

⚠警 告

❗ 走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。

このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

❗ ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

🚫 海外ではご使用にならないでください。

本機は日本国内仕様です。

🚫 運転者は走行中に操作しないでください。

走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

🚫 急発進したり急ブレーキをかけないでください。

安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

●本機のお手入れについて

⚠注 意

❗ カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。

乾いた布などでふくとキズの原因となります。

🚫 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

🚫 ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。

塗装面を傷めます。

使用上のご注意

●本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

●本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、当社は一切その責任を負いません。

・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
・本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 録画についての注意

・本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
・本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
・本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、当社は一切その責任を負いません。
・本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、当社は一切責任を負いません。
・本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
・LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。
・映像を正常に録画するため、カメラのレンズや車両のフロントガラスは常に清潔にしてください。
・録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
・運転者は走行中に電源ランプ等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ記録(手動録画)するときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
・事故発生時は、録画ファイルが上書きされないように必ずSDカードを保管してください。
・本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
※本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
※水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
※長期間使用しなかった場合。
※パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。

■ SDカードに関する注意

・カードリーダーは、使用のSDカード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していないカードリーダーを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みが、できなくなる可能性があります。
・SDカードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中にSDカードの取り出しや挿入を行うと、SDカードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
・SDカードはデータの書き込みと消去を繰り返すことで断片化が進みSDカードエラーが起きやすくなります。本機は断片化しない独自システムを採用しており定期的なフォーマットは不要です。
・SDカードには寿命があります。SDカードのデータを記録する部分は多くのメモリーセクターで構成され、繰り返しデータの書き換えを行うとメモリーセクターは劣化する特性があります。劣化が進むとメモリーセクターの一部が破損し、正常に録画ができなくなる可能性があるため、定期的に新しいSDカードへの交換をお勧めします。(製品寿命はSDカードメーカーや使用状況により異なります)
・SDカードの消耗に起因する故障または損傷については、当社は一切の責任を負いません。
・重要な記録データは、パソコンへの保存やDVDなど別媒体での保管をお勧めします。
・付属品以外のSDカードを使用する場合は、必ず初回起動時に本機でフォーマットしてください。
・本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、当社は一切その責任を負いません。
・SDカード内に本機以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。

■ 取り付けに関する注意

・本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。
・本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
・本機の周囲に他の物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
・テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
・本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

■ 液晶パネルに関する注意

・表示部を強く押したり、爪やボールペンなどの先の尖ったもので操作をしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
・表示部を金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
・サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
・周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。
・液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。
・太陽等の高輝度の映像を記録すると、黒点のように映ることがありますが、故障ではありません。

■ 真夏などの炎天下での注意

・サンシェード等の日除けを使用する際は、本機をフロントガラスとサンシェード等の間に挟み込まないでください。熱がこもりやすくなるため、本機の故障につながる可能性があります。
・本機の動作温度範囲を超えている場合、動作を停止します。周囲の温度が下がってからご使用ください。
・使用環境によっては本体が高温になり、やけど等のおそれがあるため触れる際はご注意ください。

■ GPSに関する注意

・本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
・電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)やフロントガラスをメタリックフィルム等で着色している場合、GPSを測位できない場合があります。
・走行速度や進行角度、距離などの表示は、GPSの電波のみで計測しています。測位状況によって、実際とは異なる場合があります。
・GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、故意に精度が変更されることがあります。

■ シガープラグコードに関する注意

・シガープラグコードは、必ず付属品をご使用ください。
・シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズと交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
・ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

■ 撮影された映像について

・本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

■ 他社製品との組み合わせに関する注意

・他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

■ 保証に関する注意

・本製品にはお買い上げから1年間の保証がついています。(ただし、電源コード、microSDカードならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

もしも事故が起きたら…

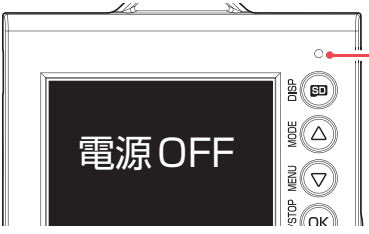
事故発生

記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して安全な場所に保管してください。

※事故発生時の参考資料として使用することができます。事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
※LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害について当社は一切責任を負いません。

付属品の電源コード接続時

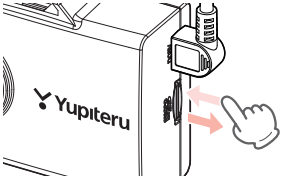
1 車両を停止(ACC OFF)する



電源ランプ

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してください。

2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

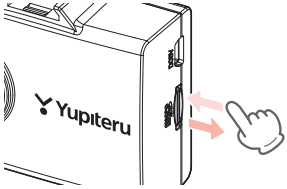
3 SDカードを保管する

<保管場所について>
SDカードは精密な電子部品で構成されており下図のような場所でお取り扱い、保管をすると、録画ファイルが破損するおそれがあります。

別売品のマルチバッテリー または駐車監視用 電源直結コード接続時

1 本体のDCジャックから電源コードを取り外す

2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

3 SDカードを保管する

保管場所については ☛ P.10を参照してください。

バックアップ機能について

重大事故などで急に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、現在記録中の映像の破損を防いで保存します。

SDカードをフォーマットする

いつフォーマットするの？

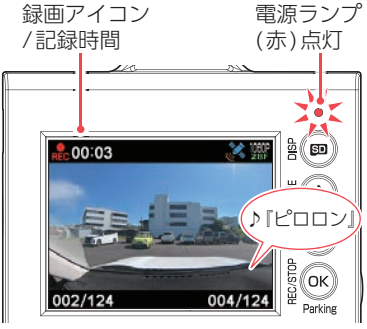
・付属品以外のSDカードを使用するとき。（初回のみ）
・解像度を変更するとき。（☛ P.54）

※フォーマットを行うと、録画ファイル（保護ファイル含む）がすべて消去されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。
※エラーメッセージ（☛ P.71）が表示されている場合は、いずれかのボタンを押してからフォーマットを行ってください。
※SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。
※容量が大きいSDカードをフォーマットする場合、フォーマット完了までに数分間かかることがあります。あらかじめご了承ください。

「SDボタン」を使うフォーマット方法

1 車両を始動（ACC ON）する

録画を開始します。
・電源ランプ（赤）が点灯
・録画アイコン／記録時間を表示



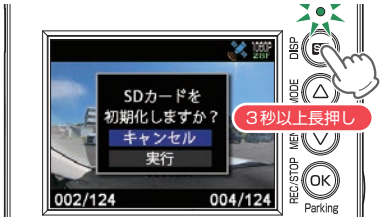
※ 付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に「SDカードエラーです」とメッセージと音声でお知らせし、フォーマット画面（3）を表示します。

2 OKボタンを押す

録画を停止します。
・電源ランプ（緑）が点灯
・記録時間が非表示

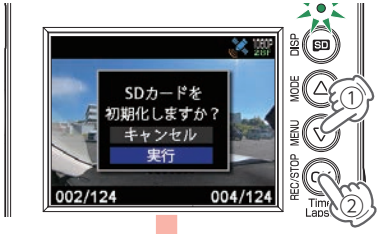
3 SD ボタンを３秒以上長押しする

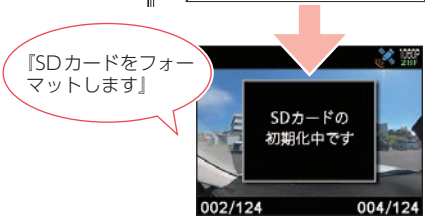
フォーマット画面を表示します。

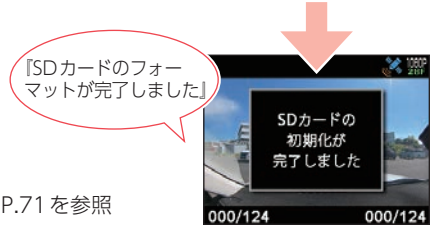


4 [実行]選択し、OK ボタンを押す

フォーマットを開始します。

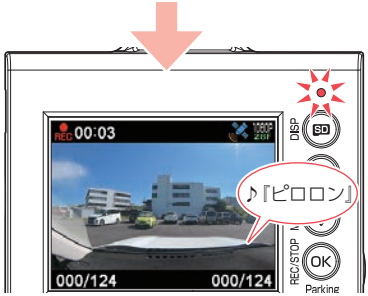






※フォーマットに失敗する場合は ☛ P.71 を参照ください。

フォーマット完了後は、自動で録画を開始します。

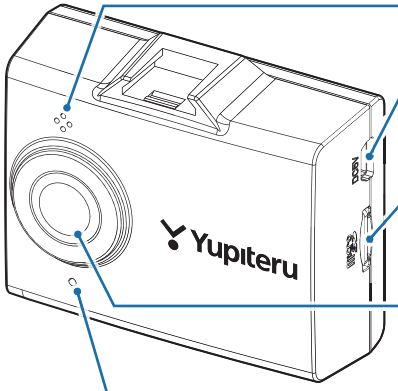


設定メニューからフォーマットする場合は、☛ P.56 を参照ください。

各部の名称と働き

■ 本体

正面



スピーカー
録画ファイルの音声が出ます。

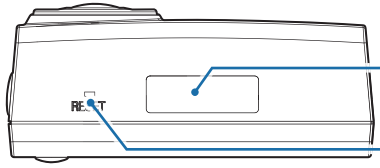
DCジャック(DC5V)
付属のシガープラグコードなどを接続します。(☛ P.36)

microSDカード挿入口
付属のmicroSDカードを挿入します。(☛ P.18)

レンズ
※ ご購入時は保護フィルムが貼ってあります。ご使用時にはがしてください。

マイク(本体内蔵)
周囲の音を収集します。

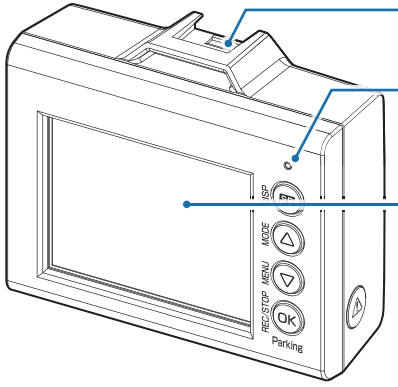
下面



シリアルナンバー
製造番号が印刷されています。

リセットボタン
本体をリセットし、システムを再起動します。(☛ P.15)

背面

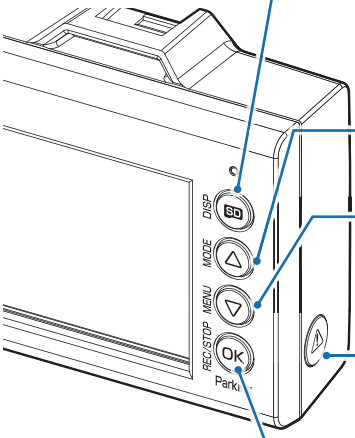


ジョイントレール
付属のブラケットを取り付けます。

電源ランプ(赤、緑)
本体の動作状態をランプでお知らせします。(☛ P.47)

フルカラー TFT液晶ディスプレイ 2.0インチ
各設定画面を表示したり、記録中の映像や、記録後の映像を確認できます。
※ ご購入時は保護フィルムが貼ってあります。ご使用時にはがしてください。

操作ボタン



SD ボタン(DISP)
画面表示をON/OFFします。(☛ P.50)
録画停止中に、3秒以上長押しするとフォーマット画面を表示します。(☛ P.12)

△ ボタン(MODE)
再生モードを表示します。(☛ P.60)

▽ ボタン(MENU)
設定メニューを表示します。(☛ P.54)
3秒以上長押しで音声録音をON/OFFします。(☛ P.49)

⚠ ボタン(記録ボタン)
録画中に押すと、ワンタッチ記録を行います。(☛ P.49)

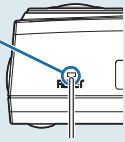
OK ボタン(REC/STOP・Parking)
録画を開始/一時停止します。
常時録画中に3秒以上長押しすると駐車監視モード(タイムラプス/動体検知)へ切り替えます。(☛ P.26)

■ リセットボタンについて

画面が固まって動かない
ボタンを押しても反応しない

こんなときは →

先の細いものでリセットボタンを押して再起動してください。

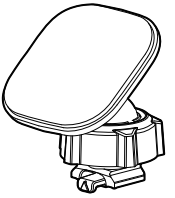


動作しなくなったり、誤作動を起こしたときは、本体下部のリセットボタンを押して、システムを再起動させてください。
※ リセットボタンを押してもSDカードに記録したデータは消えません。

1. 付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

■ ブラケット(☛ P.34) …… 1

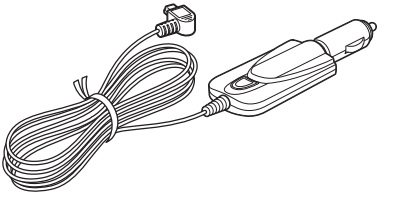


※ 両面テープが貼り付けてあります。

■ microSDカード(32GB) …… 1

(本体にあらかじめ装着されています。)

■ 5Vコンバーター付シガープラグコード(約4m)(12V車専用)(☛ P.36) …… 1



■ 保証書 …… 1

・本製品にはお買い上げから1年間の保証がついています。(ただし、電源コード、microSDカードならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

・本機の故障による代替品の貸出は当社では一切行っておりません。

・SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。

・どのSDカードにも本機との相性問題があります。市販品のSDカードでは最悪使用することができない場合があります。純正品でしたらその心配はありませんので安心してご利用いただけます。お使いの機種と一緒にお買い上げの販売店、またはお近くの弊社取扱店に純正品のSDカードをご注文ください。

2. 別売品

■ マルチバッテリー※1※4
OP-MB4000（12V車専用）

車両を停止(ACC OFF)すると、走行中に充電されたマルチバッテリーからの電源供給により、駐車記録を行います。車両バッテリーからの電源供給と違い、バッテリー上がりの心配がありません。(☛ P.39)

本体…… 1
入力コード…… 1
出力コード…… 1
面ファスナー…… 1

■ 専用microSDカード
OP-SD32M(32GB)
OP-SD64M(64GB)

■ ACアダプター　OP-E368

ご家庭で使用することができます。

■ 駐車監視用 電源直結コード※1※2※3
OP-VMU5L(12V/24V車対応)

車両バッテリーに繋げて使用する、オフタイマー設定・車両バッテリー監視機能付きの電源直結コードです。ACC ON/OFFと連動して常時録画⇔駐車監視モードを自動で切り替えます。(☛ P.43)

本体…… 1
両面テープ…… 1

■ 12V/24V対応電源直結コード※2※4
(約4m)　OP-E1159

車内アクセサリー端子から直接電源をとることができます。12/24V電源の車両に対応しています。(☛ P.37)

※1：マルチバッテリー(OP-MB4000)と駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5L)は組み合わせて使用できません。
※2：24V車に接続する場合、別売品の駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5L)、または12V/24V対応電源直結コード(OP-E1159)が必要になります。
※3：電圧監視機能付ですが、車両バッテリーの状態やお車のご使用状況などの起因により、バッテリー上がりを起こす可能性があります。バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。
※4：マルチバッテリー(OP-MB4000)の接続には、12V/24V対応電源直結コード(OP-E1159)が必要になります。また、マルチバッテリーは12V入力のため、12V/24V対応電源直結コードを使用しても24V車では使用できません。

3. 付属品・別売品の購入について

・付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「ＸＸ（機種名）用○○(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。

・弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
https://spareparts.yupiteru.co.jp/

SDカードの取り外し/装着

本書では、特にことわりのない場合、「microSDカード」を「SDカード」と表記しています。

※本機と付属品以外のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
※本機は、16GB以上、128GB以下のmicroSDHC/microSDXCカードに対応しています。
(SDスピードクラス「Class10」以上)

⚠注 意

- 電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してから行ってください。
- SDカードは一方向にしか入りません。SDカードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
- 付属品以外のSDカードは、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。
- 使用環境によっては本体が高温になり、やけど等のおそれがあるため触れる際はご注意ください。

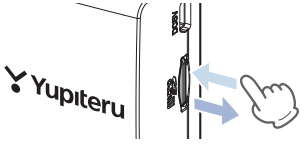
1. SDカードを本体から取り外す

別売品のマルチバッテリーや駐車監視用 電源直結コードを接続している場合は、初めに本体から電源コードを取り外してください。(☛ P.11)

1-1 車両を停止(ACC OFF)する

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

1-2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



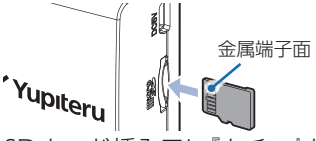
※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

2. SDカードを本体へ装着する

2-1 車両を停止(ACC OFF)する

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

2-2 SDカードを挿入する



SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。
※SDカードの向きに注意して挿入してください。

動画記録モード

動画記録モードでは、連続して動画を記録します。

No.	表示名	説　明
①	録画アイコン	録画中に表示します。(REC)
②	記録時間※1	録画中に現在の記録時間を表示します。
③	イベント記録アイコン	イベント記録中に表示します。( )
④	音声録音OFFアイコン	音声録音が[OFF]のときに表示します。( )(☛ P.49、54)
⑤	GPSアイコン※2	GPSの受信状態をアイコンで表示します。 (:測位時、 :非測位時)
⑥	解像度/フレームレート	録画解像度/フレームレートを表示します。(☛ P.54) (1080P 28F:1080P 28FPS、720P 28F:720P 28FPS、1080P 14F 1080P 14FPS、720P 14F:720P 14FPS、1080P 1F:1080P 1FPS※3、720P 1F:720P 1FPS※3)
⑦	タイムラプスアイコン	タイムラプス中に表示します。( )
⑧	動体検知アイコン	動体検知中に表示します。(:有効時、 :無効時)
⑨	Gセンサー記録ファイル数	現在のGセンサー記録ファイル数/最大記録ファイル数を表示します。
⑩	ワンタッチ記録ファイル数	現在のワンタッチ記録ファイル数/最大記録ファイル数を表示します。

※1：1ファイル単位(30秒)の記録時間になります。(例　00：29→00：00→00：01…)
※2：タイムラプス中はGPSデータを記録しないため非表示になります。
※3：タイムラプス中はフレームレートは1コマ/秒(1FPS)で固定になり、1ファイル単位が約14分または約7分になります。

■ 動画記録モード時のボタンの機能

ボタン		機　能
SPボタン	短押し	押すたびに画面表示をON/OFFします。(☛ P.50)
	長押し	録画停止中に3秒以上長押しでフォーマット画面を表示します。(☛ P.12)
△ボタン	短押し	再生モードを表示します。(☛ P.60)
▽ボタン	短押し	設定メニューを表示します。(☛ P.54)
	長押し	3秒以上長押しで音声録音をON/OFFします。(☛ P.49)
OKボタン	短押し	録画の開始/停止します。
	長押し	録画中に、3秒以上長押しで駐車監視モード(タイムラプス/動体検知)へ切り替えます(☛ P.26)
⚠ボタン	短押し	録画中に押すとワンタッチ記録を行います。(☛ P.23、49)

録画について

記録方法は、常時録画(通常録画)とイベント記録(Gセンサー記録/ワンタッチ記録)があります。また、駐車中の長時間録画用に駐車監視モード(タイムラプス/動体検知)があります。(☛ P.24)

・お買い上げ時の設定では、SDカード容量がいっぱいになると、保護していない古い録画ファイルから上書きして録画を続けます。設定により上書き時の動作を変更することができます。(☛ P.29「上書きモードについて」)

・本体起動直後や録画ファイルの記録直後にボタン操作をすると、記録されないことがあります。

・SDカードの未挿入や異常時、またはメッセージが表示された場合は映像を記録することはできません。(☛ P.71「こんなときは」)

1. 常時録画(通常録画)

車両始動(ACC ON)から車両停止(ACC OFF)までの映像をSDカードに常時録画します。常時録画中は画面上部に録画アイコン/記録時間を表示し、電源ランプ(赤)が点灯します。

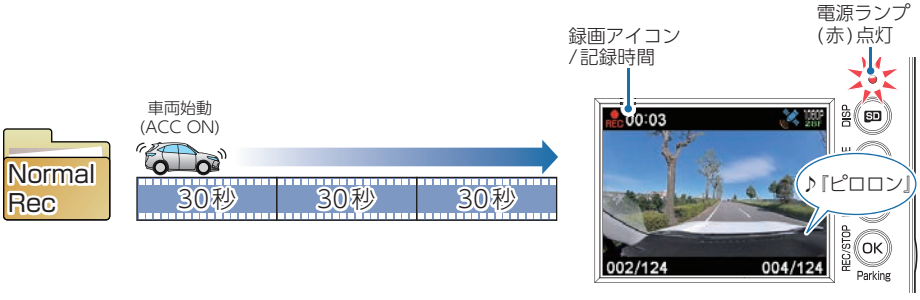
・**録画ファイル構成**
1ファイルあたり約30秒で生成します。

・**録画可能時間**
初期値(☛ P.32)で付属のSDカード(32GB)に、約277分の常時録画が可能です。解像度/フレームレート/SDカード容量によって録画可能時間は異なります。(☛ P.78)

・**上書きモード**
初期値では上書きモードが[全て上書き]のため、上限以降も保護していないファイルを上書きして録画を続けます。上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.29)

■ 通常録画

フレームレートを「28コマ/秒、14コマ/秒」で映像を常時記録します。



2. イベント記録(Gセンサー記録、ワンタッチ記録)

イベント記録にはGセンサー記録とワンタッチ記録があります。イベント記録中は、画面上部にイベント記録アイコンを表示し、電源ランプ(赤)の遅点滅になります。

⚠ 注 意

常時録画が停止(上書きモードが[上書き禁止]で常時録画(NormalRec)フォルダが上限に達した状態)した場合、イベント記録は移動する録画ファイルがないため、記録件数にかかわりなく行うことはできません。(☛ P.29「上書きモードについて」)

・録画ファイル構成

常時録画の録画ファイル構成と同様になります。

※ イベント発生のタイミングによって移動するファイル数は異なります。(☛ P.23)

・最大記録件数

初期値(☛ P.32)で付属のSDカード(32GB)に、Gセンサー記録とワンタッチ記録を合わせて約220件のイベント記録が可能です。解像度/フレームレート/SDカード容量によって録画可能時間は異なります。(☛ P.78)

・上書きモード

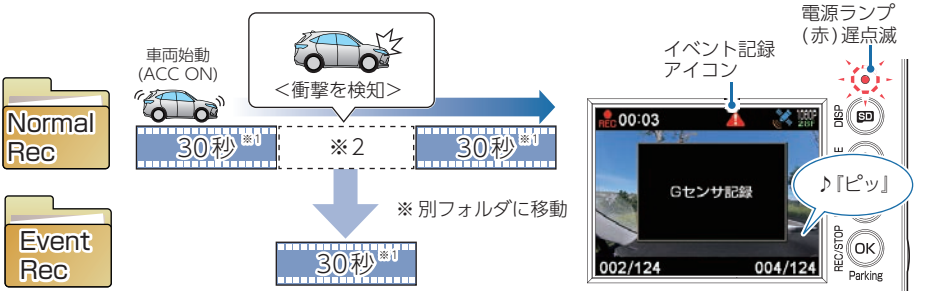
初期値では上書きモードが[全て上書き]のため、上限以降も保護していないファイルを上書きして録画を続けます。上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.29)

■ Gセンサー記録

Gセンサーが一定以上の衝撃を検知すると、録画ファイルをSDカードの「EventRec」フォルダに移動します。

※Gセンサー記録は使用するかON/OFFで設定できます。(☛ P.54「常時Gセンサー記録」「駐車Gセンサー記録」)

※Gセンサー感度は変更することができます。(☛ P.54「常時Gセンサー感度」「駐車Gセンサー感度」)



⚠ 注 意

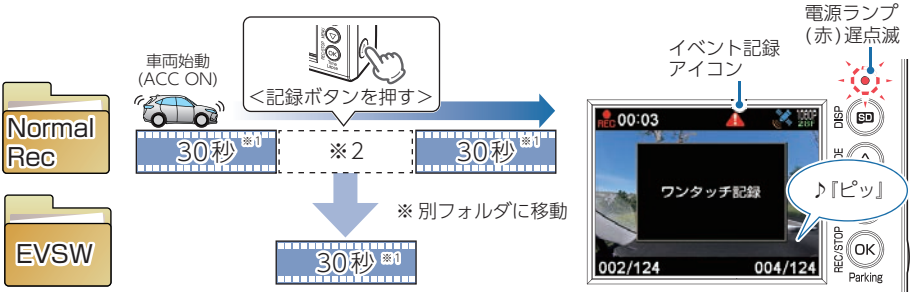
事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。その際は、常時録画の映像をご確認ください。

※1:タイムラプス中は14分/7分の映像が1ファイルになります。(☛ P.24)

※2:イベント発生のタイミングによって移動するファイル数は異なります。(☛ P.23)

■ ワンタッチ記録＜手動録画＞

録画中に⚠ボタン押すと、録画ファイルをSDカードの「EVSW」フォルダに移動します。

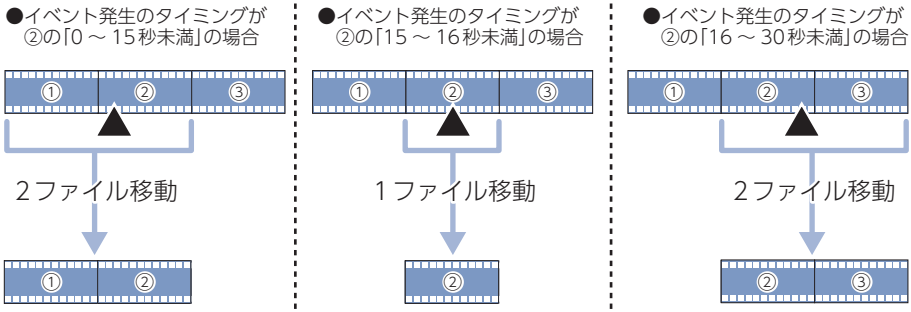


⚠ 注 意

ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。

※1：タイムラプス中は14分/7分の映像が1ファイルになります。（☛ P.24）
※2：イベント発生のタイミングによって移動するファイル数は異なります。（☛ 下記参照）

■ イベント発生タイミングによる移動ファイル数について



駐車記録について

本機は駐車記録(車両停止(ACC OFF)状態で駐車中に記録を行うこと)用に「タイムラプス」「動体検知」の2つのモードがあります。必要に応じてご使用ください。

※駐車記録には別売品のマルチバッテリー(OP-MB4000)、または駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5L)が必要です。

1. 駐車監視モード(タイムラプス、動体検知)

駐車監視モードにはタイムラプスと動体検知があります。各モードによって動作は異なるため、使用環境にあったモードを選択してください。

※駐車監視モード中は、「設定メニュー」「再生モード」が表示できません。
※駐車監視モード中は画面自動OFFの設定に関わらず、1分後に画面OFFします。
※駐車監視モード中も、イベント記録(Gセンサー記録、ワンタッチ記録)は機能します。

・録画ファイル構成
初期値(☛ P.32)で1ファイルあたりタイムラプスで約14分、動体検知で約30秒で生成します。

・録画可能時間
初期値(☛ P.32)で付属のSDカード(32GB)に、約277分/約129時間の録画が可能です。解像度/フレームレート/SDカード容量によって録画可能時間は異なります。(☛ P.78)

・上書きモード
初期値では上書きモードが[全て上書き]のため、上限以降も保護していないファイルを上書きして録画を続けます。上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.29)

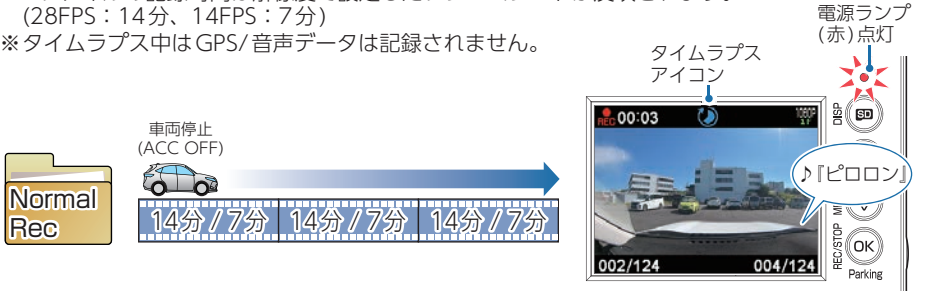
あらかじめ任意の駐車監視モードに切り替える必要があります。設定メニューの[駐車監視モード]をご確認ください。(☛ P.55)

※初期値は[タイムラプス]です。

■ タイムラプス

長時間録画に対応するため、フレームレートを「1コマ/秒」に変更し映像を常時記録します。

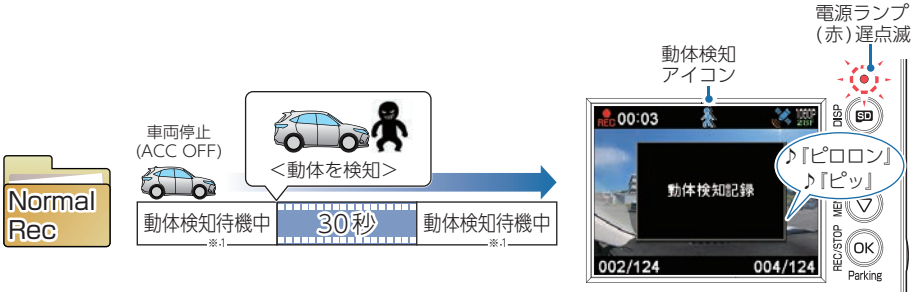
※タイムラプス中は、フレームレートが「1コマ/秒(1FPS)」に固定されます。そのため14分または7分の映像が1ファイルになり、再生すると早送りの映像になります。
※1ファイルの記録時間は解像度で設定したフレームレートが反映されます。(28FPS:14分、14FPS:7分)
※タイムラプス中はGPS/音声データは記録されません。



■ 動体検知

映像の変化から動体を検知し動きがあった場合に記録を行います。
終了後は『録画を停止します』とお知らせし、動体検知待機中(※1)に戻ります。

※動体検知を短時間で複数回検知した場合は無効( )になります。また、一定時間検知しなくなった場合は自動で有効( )になります。
※映像の変化から動体を検知するため、検出範囲内であっても周囲の状況、気象条件等によって、うまく働かない場合があります。あらかじめご了承ください。
※動体検知の感度は変更できます。(☛ P.55「動体検知感度」)



※1：動体検知待機中：動体/Gセンサー起動、カメラ起動、録画停止状態

動体検知待機中は画面OFF、電源ランプ(緑)点灯になります。

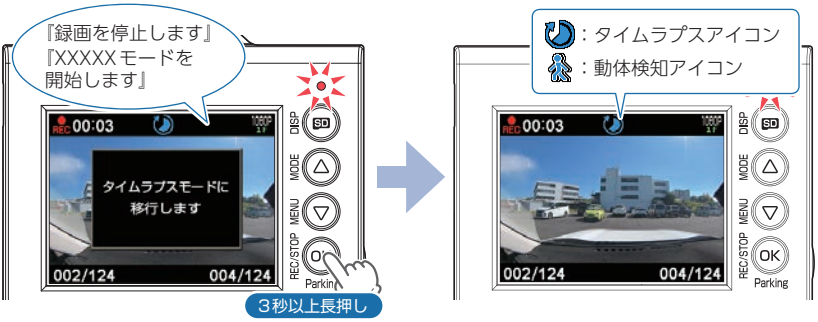
2. 駐車監視モード(タイムラプス/動体検知)への切替方法

駐車監視モード(タイムラプス/動体検知)へは、手動または自動で切り替えることができます。

A：手動切替 …… 下記参照
B：自動切替(駐車監視用 電源直結コード：OP-VMU5L) …… ☛ P.27

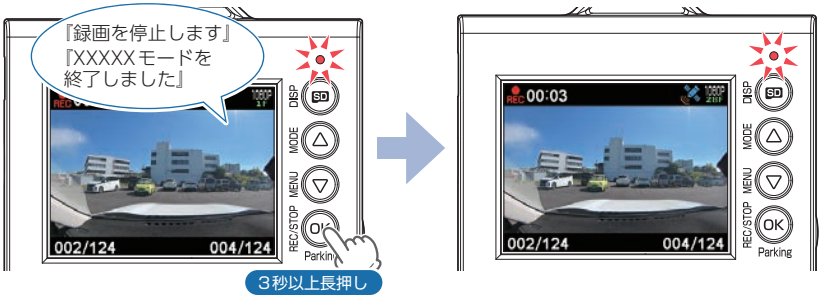
■ A：手動切替

A-1 録画中に、OK ボタンを3秒以上長押しする



駐車監視モード(タイムラプス/動体検知)で録画を開始します。
※動体検知は移行から有効になるまで数十秒かかります。(有効：、無効：)

A-2 終了する場合は再度、OK ボタンを3秒以上長押しする

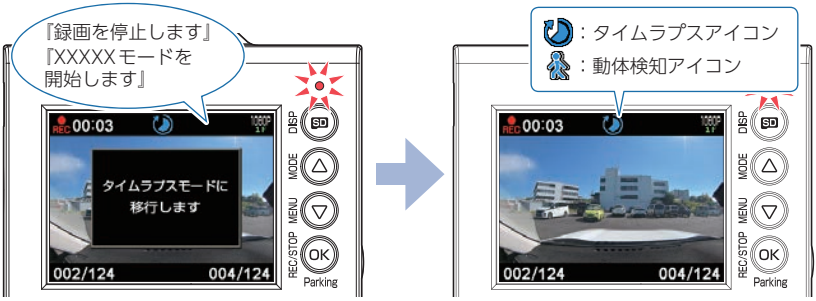


駐車監視モード(タイムラプス/動体検知)を終了し、自動で録画を開始します。
※画面OFFの場合、いずれかのボタンを押して画面ONしてから行ってください。

■ B：自動切替（駐車監視用 電源直結コード：OP-VMU5L）

あらかじめ自動駐車モード切替を[ON]にする必要があります。
設定メニューの[自動駐車モード切替]をご確認ください。
（☛ P.54）
※初期値は[OFF]です。

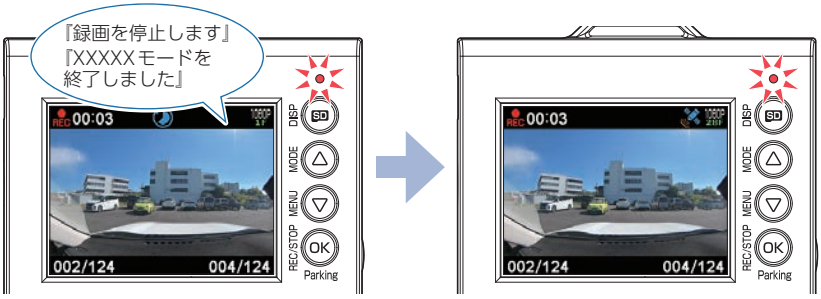
B-1 車両を停止（ACC OFF）する



別売品（OP-VMU5L）から電源供給し、駐車監視モード（タイムラプス／動体検知）で駐車記録を開始します。

※別売品（OP-VMU5L）の設定によっては電源OFFします。
※動体検知は移行から有効になるまで数十秒かかります。（有効：、無効：）

B-2 終了する場合は、車両を始動（ACC ON）する

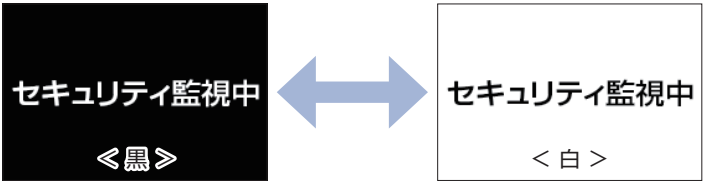


駐車監視モード（タイムラプス／動体検知）を終了し、自動で録画を開始します。

3. 警報機能

駐車監視モード時にイベント記録が発生した場合、約10秒間LCDフラッシュ（画面の白黒点滅）で不審者を威嚇します。

※初期値は[LCDフラッシュ：OFF]です。（☛ P.55）



上書きモードについて

上限に達した場合の動作を下記から選択できます。(☛ P.54「上書きモード」)

上書きモード		上限に達した場合の動作	
		常時録画	イベント記録
上書き禁止	すべての録画ファイルは上書きされません。	録画の停止	録画の停止
常時録画上書き	保護していない常時録画(NormalRec)フォルダのファイルのみ上書きします。	上書きして録画を継続	録画の停止
全て上書き(初期値)	保護していない録画ファイルを上書きします。	上書きして録画を継続	上書きして録画を継続

※上書きはそれぞれの記録方法の保護していない古い録画ファイルから自動削除して上書きされます。
※保護したファイルを消去する場合は、ファイルの保護を解除してから消去(☛ P.62)するか、SDカードをフォーマットしてください。(☛ P.12、56)

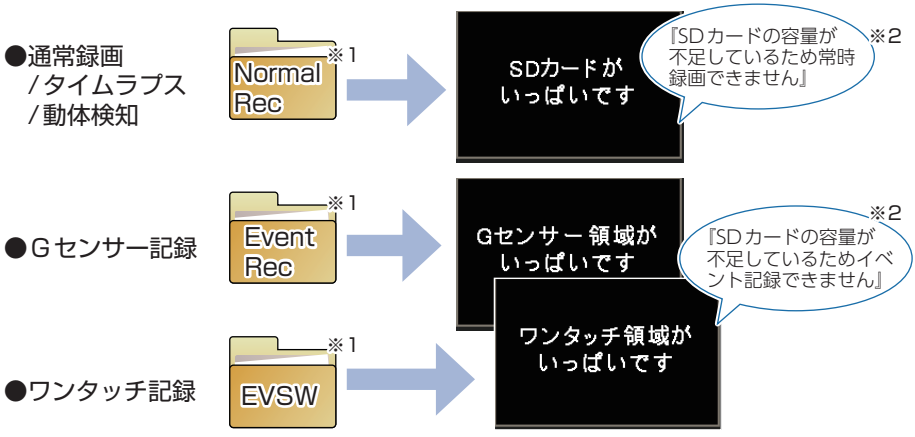
■ 上書き禁止

各フォルダがそれぞれ上限に達すると、その記録方法での録画を停止します。

例①:イベント記録(EventRec、EVSW)フォルダが上限に達すると、イベント記録は停止しますが、常時録画(NormalRec)フォルダが上限に達していなければ、常時録画を続けます。

例②:常時録画(NormalRec)フォルダが上限に達すると、常時録画が停止します。さらに、イベント記録は移動する録画ファイルがないため、記録件数にかかわりなく行うことはできません。

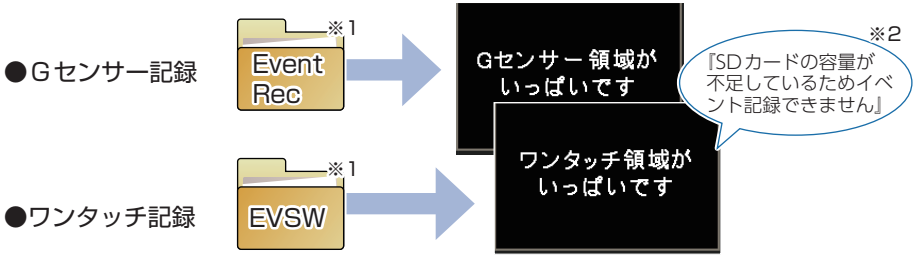
※イベント記録は、常時録画を移動したファイルです。



※1:解像度/フレームレート/SDカード容量によって録画可能時間は異なります。(☛ P.78)
※2:メッセージ開始時に音声でお知らせします。音量を[OFF]に設定している場合、音声でお知らせしません。

■ 常時録画上書き※1

常時録画(NormalRec)フォルダが上限に達すると、そのフォルダ内の保護していない古いファイルを上書きし録画を続けます。
イベント記録は、フォルダ(EventRec、EVSW)の上限に達した時点で、その記録方法での録画を停止します。



■ 全て上書き(初期値)※1

各フォルダがそれぞれ上限に達した場合、各記録方法の保護していない古い録画ファイルを上書きし、録画を続けます。

メッセージ表示を解除する場合は、いずれかのボタンを押してください。

※1：解像度/フレームレート/SDカード容量によって録画可能時間は異なります。(☛ P.78)
※2：メッセージ開始時に音声でお知らせします。音量を[OFF]に設定している場合、音声でお知らせしません。

メンテナンスについて

本機は、定期的にメンテナンスを行っていただくことをお勧めします。

■ 必要に応じてメンテナンス

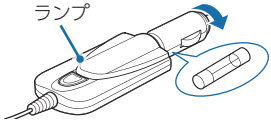
・付属のシガープラグコードのヒューズ交換

※交換用ヒューズ2A(20mm×5.2mm)

接続状態で車両始動(ACC ON)しても電源ONにならない(シガープラグコードのランプが点灯しない)場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

① シガープラグコードが奥まで差し込まれていることを確認してください。
② 下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズが切れていないかを確認してください。
③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

シガープラグの先端を、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、シガープラグの先端を図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



・別売品のヒューズ交換

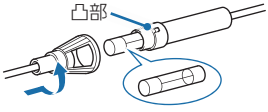
※マルチバッテリー(OP-MB4000):交換用ヒューズ6A(30mm×6.0mm)
※駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5L):交換用ヒューズ3A(20mm×5.2mm)×2
※12V/24V対応電源直結コード(OP-E1159):交換用ヒューズ5A(20mm×5.2mm)

接続状態で車両始動(ACC ON)しても電源ONにならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

① 接続コード類が外れていないかを確認してください。
② 下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズが切れていないかを確認してください。
③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

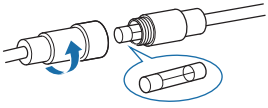
<OP-MB4000>

ヒューズホルダーの先端を、押しながら図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダー先端の溝と本体凸部を合わせて押しながら図の矢印と逆方向に回す。



<OP-VMU5L、OP-E1159>

ヒューズホルダーを、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



初期値について

本機の初期値は、下記の表のとおりです。

設定項目	初期値	説　明
解像度	1080P　28FPS	1920×1080、28コマ/秒で録画します。
音声録音	ON	動画と同時に音声を録音します。
常時Gセンサー記録	ON	常時(ACC ON)/駐車(ACC OFF)時にGセンサー記録を行います。(☛ P.54)
駐車Gセンサー記録		
常時Gセンサー感度	X：1.0G Y：1.0G Z：1.0G	常時(ACC ON)/駐車(ACC OFF)時のGセンサー感度を[1.0G]/[0.5G]に設定しています。 ※X(前後方向)/Y(左右方向)/Z(上下方向)
駐車Gセンサー感度	X：0.5G Y：0.5G Z：0.5G	
上書きモード	全て上書き	SDカード容量の上限に達すると、すべての録画ファイルを上書きします。(☛ P.29)
自動駐車モード切替	OFF	車両停止(ACC OFF)時に自動で駐車監視モード(タイムラプス/動体検知)へ移行しません。
駐車監視モード	タイムラプス	駐車監視モードを、タイムラプスで動作します。
動体検知感度	MID(普通)	動体検知の感度をMID(普通)に設定しています。
LCDフラッシュ	OFF	駐車監視モード(タイムラプス/動体検知)でイベント記録が発生した場合に、LCDフラッシュで威嚇しません。
音量	60%	本機の音量を60%に設定しています。 ※音量は操作音、音声、録画ファイルの再生音に反映されます。
画面自動オフ	30秒後	30秒間無操作で画面OFFします。

※初期値を変更する場合は、☛ P.53を参照ください。

本機の取り付け

取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

取り付けの注意

・フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。

・両面テープは所定の位置にしっかり取り付けてください。

・視界の妨げにならないように取り付けてください。

・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に鮮明に記録できない可能性があります。

・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。

・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。

・フロントガラス縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。

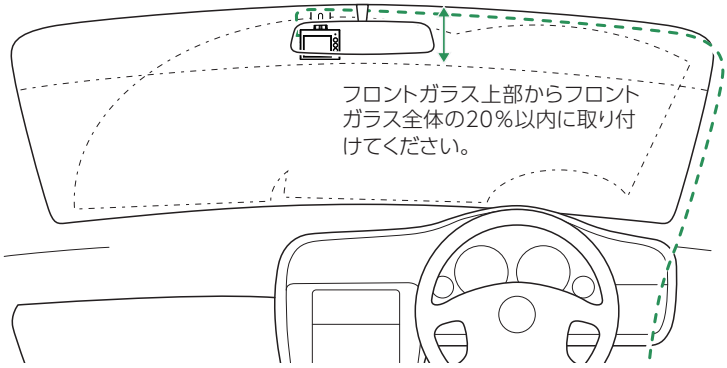
・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。

・本機の周囲に物を配置しないでください。映像が映り込む可能性があります。

・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。

・テレビ/ラジオアンテナ付近に設置しないでください。テレビ/ラジオ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。

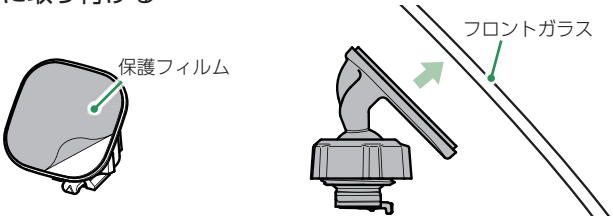
・取り付け前に、取り付け位置で電源コードなどが接続でき、ボタン操作がしやすい位置か確認してから行ってください。



1. 本機を取り付ける

あらかじめ、フロントガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。
※ご購入時はレンズに保護フィルムが貼ってあります。ご使用時にはがしてください。

1-1 ブラケットの両面テープから保護フィルムをはがし、フロントガラスに取り付ける

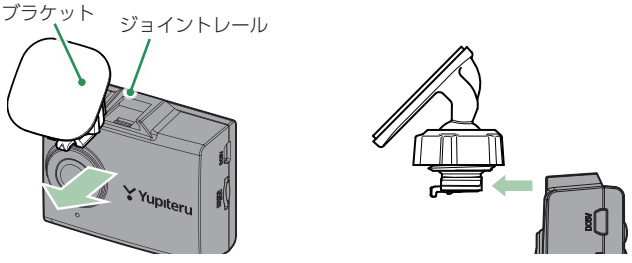


ブラケットに本体を装着したときに、電源コードが接続でき、ボタン操作がしやすい場所に取り付けてください。

■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

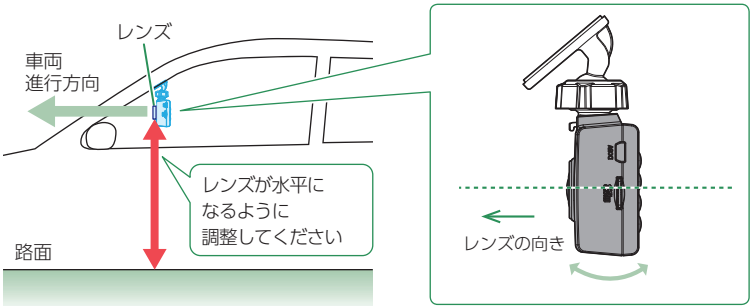
- フロントガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
- サンシェード等の日除けを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープはがれの原因となります。
- 極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
- 貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。
- 固定力を強くするために本体を取付けず、24時間以上放置し、両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
- 両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

1-2 ブラケットを本体のジョイントレールに合わせ、矢印の方向にスライドさせ装着する



『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

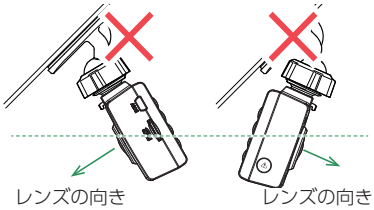
1-3 レンズの向きが車両進行方向と水平になるように調整する



※カメラレンズに触れないように調整してください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなる恐れがあります。
※奥までスライドさせ、軽く本体を引っ張り、本体が外れないことを確認してください。走行中に落下するおそれがあります。

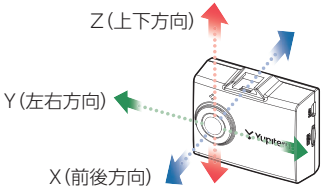
レンズの向きが車両進行方向と水平でない場合、Gセンサー記録が誤って動作することがあります。

※ 正しくGセンサー記録を動作させるには、必ずレンズの向きが、車両進行方向と水平になるように調整してください。

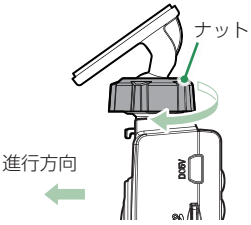


Gセンサー感度について

Gセンサー感度は右図の3方向(XYZ)で設定します。
設定範囲は常時(ACC ON)で0.5 G(敏感)～4.0 G(鈍感)、駐車時(ACC OFF)で0.2(敏感)～4.0 G(鈍感)の0.1 G単位で設定できます。(☛ P.54)



1-4 ナットを締めて固定する



■ 取り外し方法

① ロック解除レバーを持ち上げます。
② 本体を矢印の方向へスライドさせます。

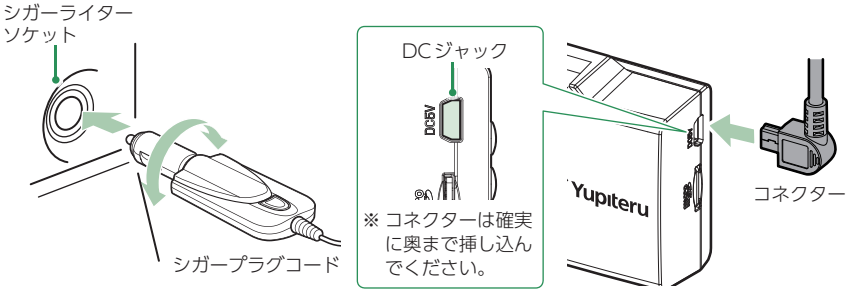
※確実にナットで固定してください。走行中に落下する恐れがあります。
※ナットを締めた後は本体の向きを調整しないでください。ブラケットのジョイント部に無理な力が加わり、破損することがあります。ナットを緩めてから調整してください。
※ナットを締める場合は、本体を回さずにナットを締めてください。ブラケットのジョイント部に無理な力が加わり、破損することがあります。

2. 電源を接続する

付属のシガープラグコードを接続します。

※別売品で接続する場合は ☛ P.37 を参照ください。

2-1 シガープラグコードを接続する



付属のシガープラグコードを本体のDCジャックと車両のシガーライターソケットに挿し込みます。

※付属のシガープラグコードをご使用ください。
※電源はDC12V(マイナスアース)車専用です。24V車ではご使用いただけません。
※シガープラグコードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

2-2 市販品の結束バンドなどを使い、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
・直射日光の当たる場所。
・不安定な場所。
・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

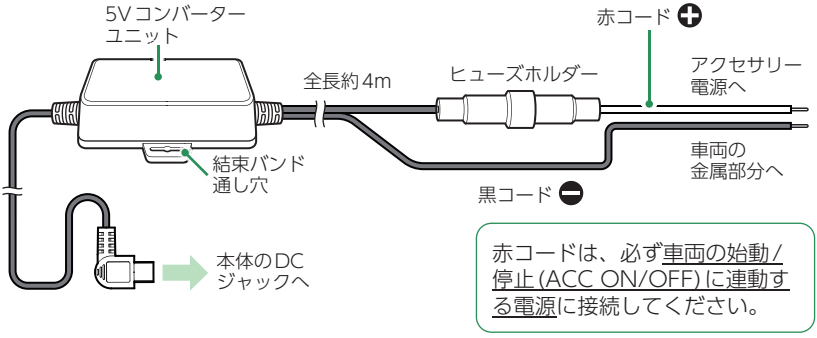
別売品の取り付け

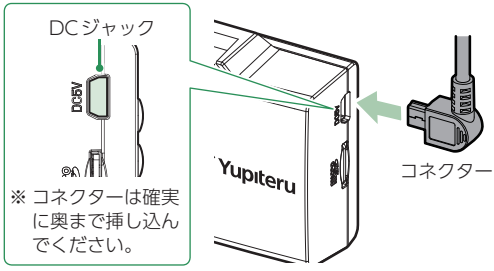
1. 12V/24V対応電源直結コード(OP-E1159)の接続方法

⚠注 意

・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
・カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

1-1 電源直結コードを接続する





別売品の12V/24V対応電源直結コード(OP-E1159)を本体のDCジャックへ接続します。

※電源直結コードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。
※電源はDC12V/24V(マイナスアース)車対応です。
※電源直結コードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない時は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

1-2 市販品の結束バンドや両面テープなどを使い、5Vコンバーターユニットを固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
・直射日光の当たる場所。
・不安定な場所。
・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

取り付けと配線が終了したら、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。正常に作動しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

2. マルチバッテリー(OP-MB4000)の接続方法

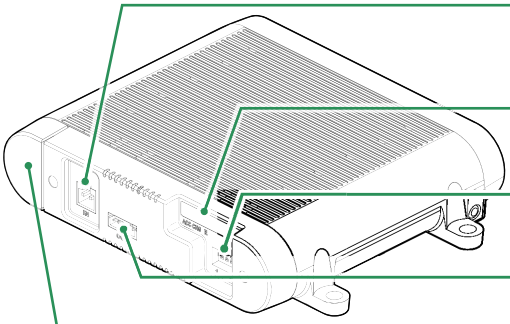
⚠ 注 意

- 作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。
- OP-MB4000を3ヶ月以上使用しない場合は、電源コネクターを外してください。そのまま放置した場合、内蔵電池が完全放電し使用できない状態になることがあります。

  ※ 電源コネクタを外した場合でも接続する機器への電源供給は行えます。

- ディップスイッチを操作できる場所へ取り付けてください。

■ OP-MB4000



入力端子(DC12V)
OP-MB4000付属の入力コードを接続します。

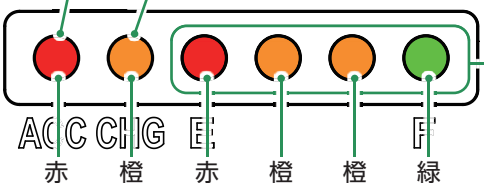
表示ランプ
給電・充電・電池残量をランプで表示します。

ディップスイッチ
オフタイマー設定に使用します。

出力端子(DC12V)
OP-MB4000付属の出力コードを接続します。

電源コネクター

■ 表示ランプについて



OP-MB4000に電源が供給されている時に点灯します。

充電中に点灯、動作温度範囲外で充電を停止し点滅します。

※ 高速点滅した場合は電池異常のためすぐに使用を中止してください。

電池残量をランプの点灯数で表示します。

※ 車両停止(ACC OFF)後、5秒間点灯します。
※ 約3時間で満充電になります。

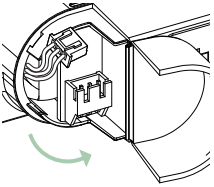
■ OP-MB4000接続時に必要なもの

①OP-MB4000　②OP-MB4000付属入力コード
③OP-MB4000付属出力コード
④12V/24V対応電源直結コード(OP-E1159)　⑤市販品接続端子

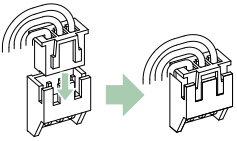
※付属品のシガープラグコードは使用しません。

2-1 電源コネクターを接続する

①カバーを開ける

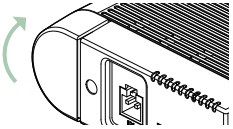


②電源コネクターを接続する



※奥まで確実に挿し込んでください。

③カバーを閉じる



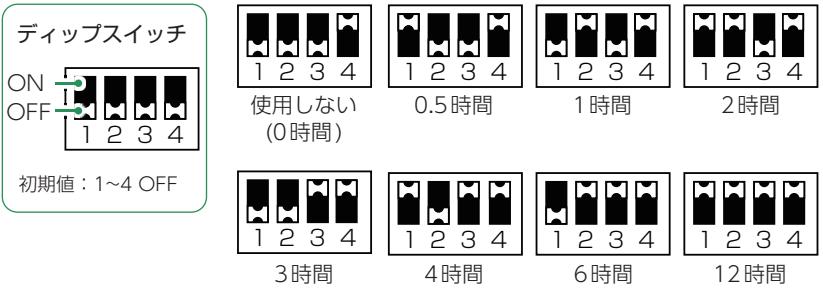
※「カチッ」と音が鳴るまで閉めてください。

2-2 オフタイマー設定をする

車両停止(ACC OFF)後、OP-MB4000内蔵電池から電源供給する時間を、ディップスイッチで設定(オフタイマー設定)します。
お買い上げ時(工場出荷時)のままでは、使用できません。車両停止(ACC OFF)時にディップスイッチの操作を行ってください。車両始動(ACC ON)した際に設定が反映されます。

※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。

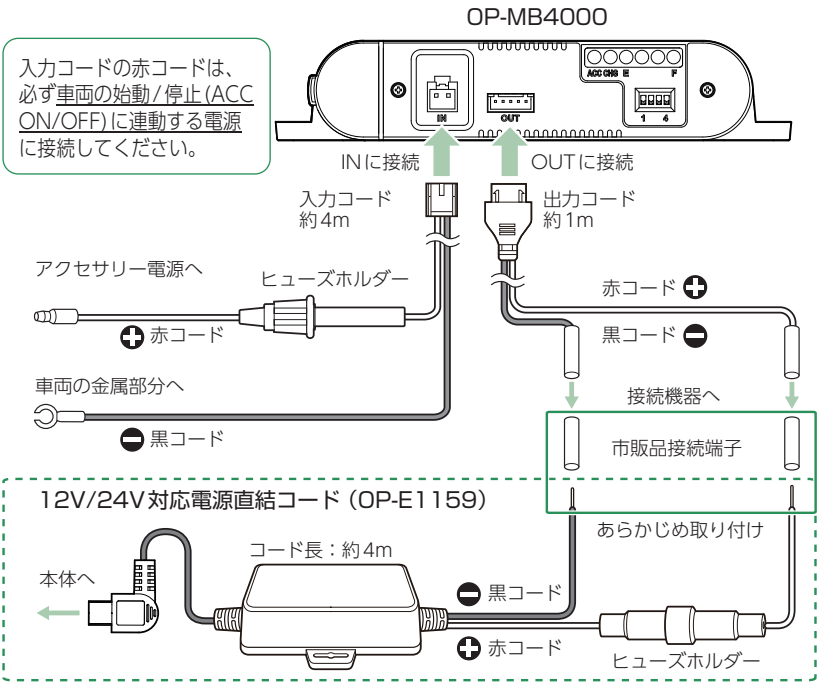
■ オフタイマー設定



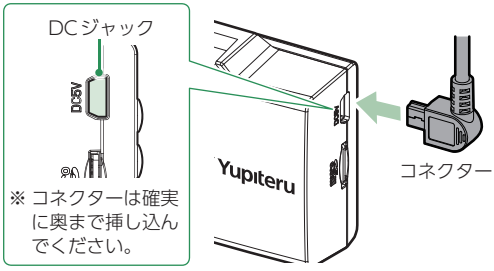
⚠ 注 意

- オフタイマー設定に関係なく、使用状況(使用機種/接続状態/充電状態/設置環境等)により電源供給できる時間は変化します。また、OP-MB4000の内蔵電池が少なくなった場合には電源供給を自動的に停止します。
- オフタイマー設定を「使用しない(0時間)」に設定した場合、駐車記録は行いません。
- OP-MB4000の内蔵電池を満充電したい場合や駐車記録を行わない場合などに設定してください。

2-3 OP-MB4000を車両に接続する



2-4 電源直結コードを接続する



別売品の12V/24V対応電源直結コード(OP-E1159)を本体のDCジャックへ接続します。

※電源直結コードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

2-5 OP-MB4000付属の面ファスナーや市販品の結束バンドなどで固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
・直射日光の当たる場所。
・不安定な場所。
・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
・車両の電装機器（アンテナ等含む）などの近く。
・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。
正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

3. 駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5L)の接続方法

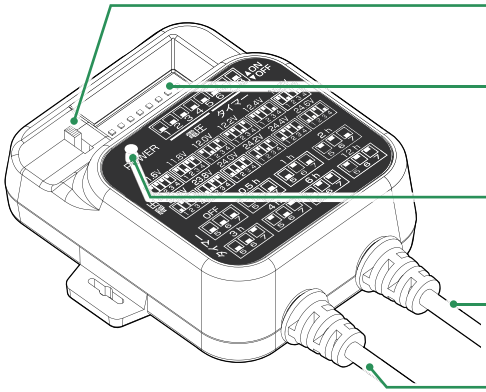
⚠ 注 意

- 作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。
- 2日以上使用しない場合は、駐車記録スイッチをOFFにしてください。車両バッテリー上がりの原因となります。

  ※ 駐車記録スイッチをOFFにした場合でも接続する機器への電源供給は行えます。

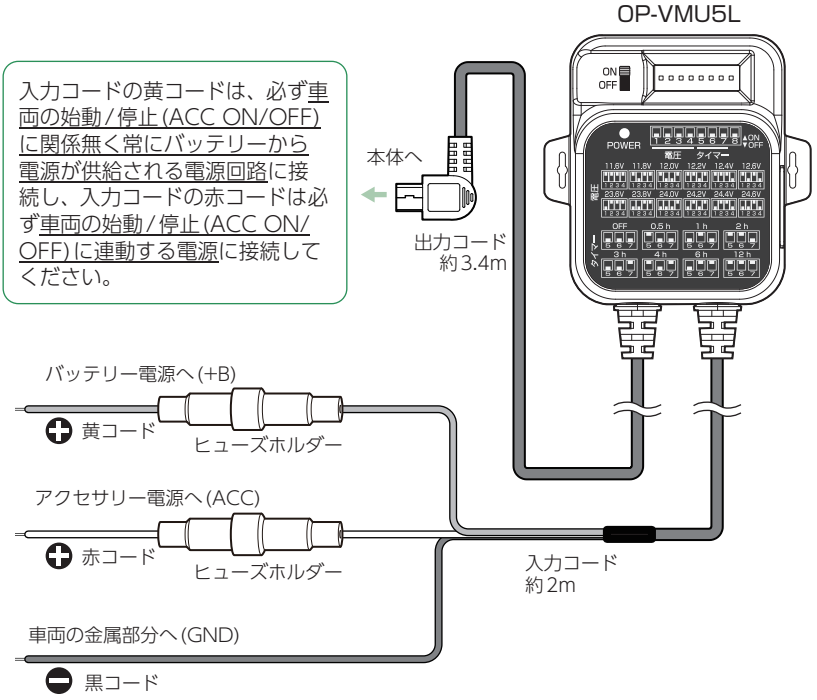
- ディップスイッチを操作できる場所へ取り付けてください。
- 車両バッテリーの電源を使用するため、車両バッテリーに負担が生じます。毎日1時間以上走行しない、または1年以上同じバッテリーをご使用の場合はバッテリーが上がるおそれがあります。車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。

■ OP-VMU5L

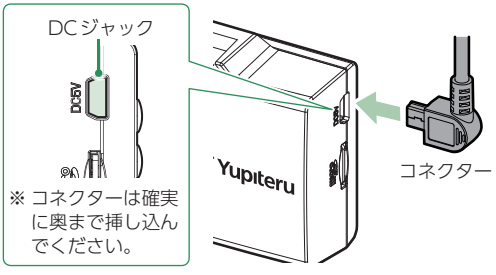


3-1 OP-VMU5Lを車両に接続する

入力コードの黄コードは、必ず車両の始動/停止(ACC ON/OFF)に関係無く常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続し、入力コードの赤コードは必ず車両の始動/停止(ACC ON/OFF)に連動する電源に接続してください。



3-2 出力コードを接続する



※ コネクターは確実に奥まで挿し込んでください。

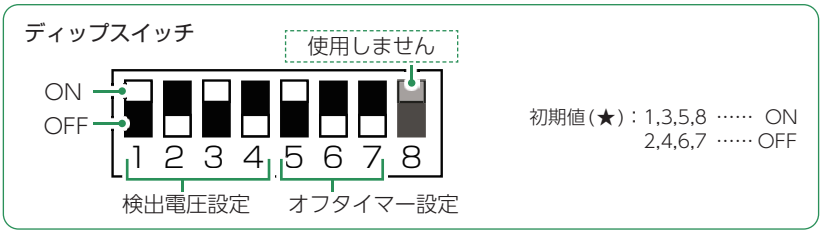
出力コードを本体のDCジャックへ接続します。

※出力コードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

3-3 検出電圧設定とオフタイマー設定をする

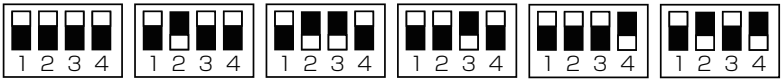
車両停止(ACC OFF)後、車両のバッテリーが設定したバッテリー電圧以下になると、車両のバッテリーから電源供給を停止する検出電圧設定と、車両停止(ACC OFF)後、設定した時間になると車両のバッテリーから電源供給を停止するオフタイマー設定があります。

※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。



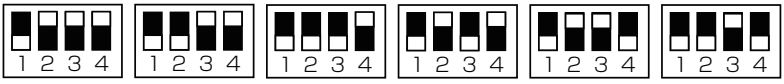
■ 検出電圧設定(1 ～ 4使用)

12V車



11.6V　11.8V　12.0V　12.2V　12.4V　12.6V(★)

24V車



23.6V　23.8V　24.0V　24.2V　24.4V　24.6V

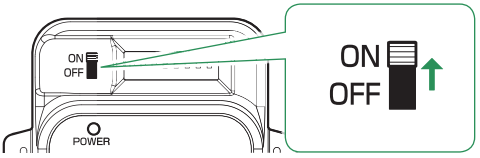
■ オフタイマー設定(5～7使用)

OFF(0時間)　0.5時間(★)　1時間　2時間　3時間　4時間　6時間　12時間

⚠ 注 意

- ディップスイッチの[8]は使用しません。初期値(ON)のまま変更しないでください。
- オフタイマー設定に関係なく、検出電圧設定以下になった場合には車両のバッテリーからの電源供給を停止します。
- オフタイマー設定を「OFF(0時間)」に設定した場合、駐車記録は行いません。駐車記録を行わない場合などに設定してください。

3-4 駐車記録スイッチをONにする



3-5 OP-VMU5L付属の両面テープなどで固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
・直射日光の当たる場所。
・不安定な場所。
・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。
・ディップスイッチの操作ができない場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。
正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

3-6 自動駐車モード切替を[ON]にする(☛ P.54)

※[OFF]では車両停止(ACC OFF)時に、駐車監視モード(タイムラプス/動体検知)に自動で切り替わりません。
※[ON/OFF]に関係無く、検出電圧設定/オフタイマー設定は機能します。

電源ON ～ OFFまでの手順

ご購入後、初期値のまま使う場合は下記の手順に沿って操作の確認をお願いします。

車両始動
(ACC ON)

1 録画開始 ▶ 2 録画停止 ▶ 3 録画再開 ▶ 4 ワンタッチ記録 ▶ 5 音声録音 ▶ 6 画面表示 ▶ 7 録画終了

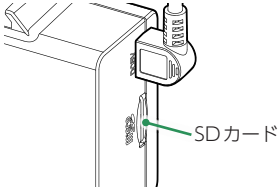
車両停止
(ACC OFF)

※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。フォーマットしない場合、録画がうまくできない・録画可能時間が減少するなどの原因になります。

1. 電源ON(録画を開始する)

本機は、車両の始動(ACC ON)に連動して録画を開始します。

1-1 SDカードが挿入されていることを確認する

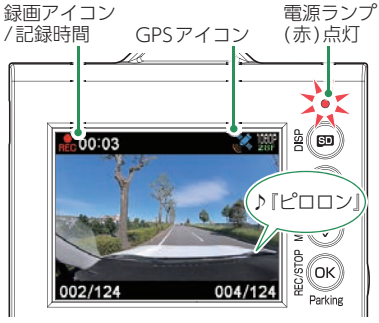


・SDカードが挿入されていないときは

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認して、SDカードを挿入してください。

☛ P.18「SDカードの取り外し/装着」

1-2 車両を始動(ACC ON)する



・電源ランプについて

ランプの状態	本体の動作
赤点灯	常時録画(通常録画)
赤遅点滅	イベント記録(Gセンサー記録/ワンタッチ記録)、動体検知
赤早点滅	エラー時
緑点灯	録画以外の動作
消灯	電源OFF

録画を開始します。

電源ランプ(赤)が点灯し、録画アイコンと記録時間を表示します。

GPSを測位すると アイコンを表示し、GPS情報を取得します。

※GPS情報を取得すると、自動的に日時を調整します。

※GPSの測位に失敗すると、 アイコンを表示します。

※エラーメッセージを表示した場合は ☛ P.71を参照ください。

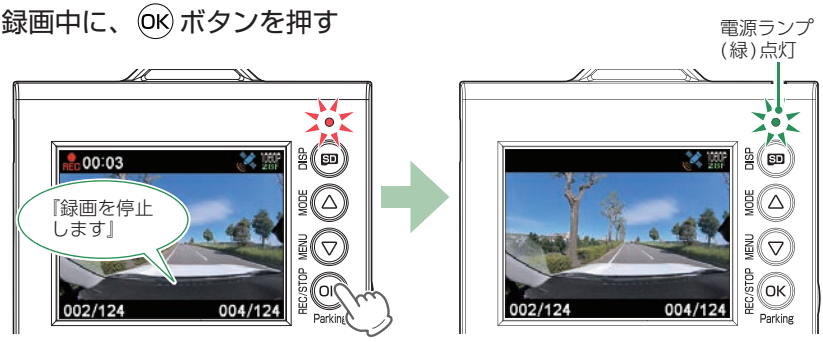
・録画開始までの時間について…
本体の状態によって録画開始まで、数秒から最大40秒かかる場合があります。電源ランプの状態を確認してから走行を開始してください。

・SDカードのチェック機能について
SDカードの破損や不具合を見つけたらお知らせします。(☛ P.71)

・GPS測位について
購入後、初めて使用する場合、障害物や遮へい物のない見通しの良い場所で10分～20分程度通電状態にし、GPSの電波を受信(測位)させます。

2. 録画を停止する

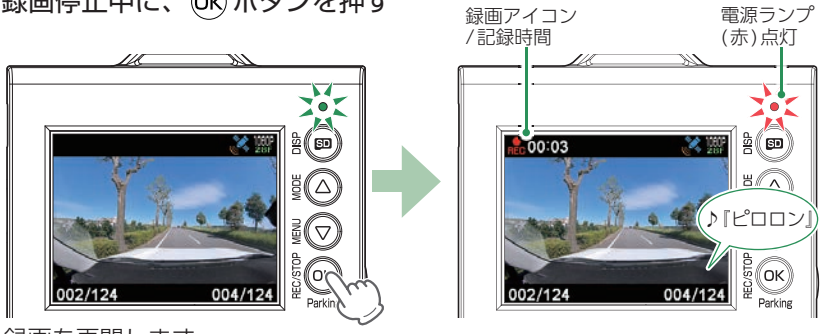
2-1 録画中に、OKボタンを押す



録画を停止します。
電源ランプ(緑)が点灯し、記録時間が非表示になります。

3. 録画を再開する

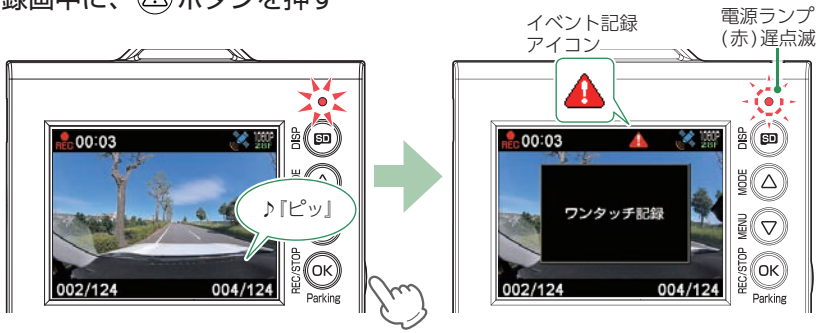
3-1 録画停止中に、OKボタンを押す



録画を再開します。

4. ワンタッチ記録をする

4-1 録画中に、⚠ボタンを押す



電源ランプ(赤)が遅点滅し、イベント記録アイコンを表示します。

※ワンタッチ記録終了後は、自動で常時録画へ戻ります。

※ワンタッチ記録の詳細は、☛ P.23を参照ください。

5. 音声録音をON/OFFする

※設定メニューからも変更できます。(☛ P.54「音声録音」)

5-1 ▽ボタンを、3秒以上長押しする

▽ボタンを3秒以上長押しするたびに、音声録音のON/OFFが切り替わります。

※OFF中は音声録音OFFアイコンを表示します。

6. 画面表示をON/OFFする

※設定で画面を自動OFFすることもできます。(初期値「画面自動オフ：30秒」)(☛ P.54)

6-1 SDボタンを押す

＜画面ON＞

＜画面OFF＞

SDボタンを押すたびに、画面をON/OFFします。
※画面OFF中も録画は継続します。

7. 電源OFF(録画を停止する)

本機は、車両の停止(ACC OFF)に連動して録画を停止します。

7-1 車両を停止(ACC OFF)する

録画を停止し、電源OFFになります。

駐車記録用に別売品を接続している場合は下記ページを参照ください。

A：別売品のマルチバッテリー(OP-MB4000)接続時 …… ☛ P.51
B：別売品の駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5L)接続時 …… ☛ P.52

A：別売品のマルチバッテリー（OP-MB4000）接続時

A-1 車両を停止（ACC OFF）する

別売品（OP-MB4000）から電源供給し、駐車記録（※1）を開始します。

※別売品（OP-MB4000）の設定によっては電源OFFします。

A-2 OK ボタンを、3秒以上長押しする

駐車監視モード（タイムラプス／動体検知）で駐車記録（※1）を開始します。

A-3 車両を始動（ACC ON）する

別売品（OP-MB4000）から電源供給が継続している場合、録画を駐車監視モード（タイムラプス／動体検知）で継続して行います。

※別売品（OP-NB4000）から電源供給が停止している場合、通常の録画を開始します。

※1：駐車記録とは車両停止（ACC OFF）状態で駐車中に記録を行うこと。

B：別売品の駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5L)接続時

あらかじめ自動駐車モード切替を[ON]にする必要があります。
設定メニューの[自動駐車モード切替]で確認してください。
(☛ P.54)

※初期値は[OFF]です。
※自動駐車モード切替[OFF]の場合は手動で駐車監視モードへ切り替えてください。(☛ P.26、51)

B-1 車両を停止(ACC OFF)する

タイムラプス(☛ P.24)

動体検知(☛ P.25)

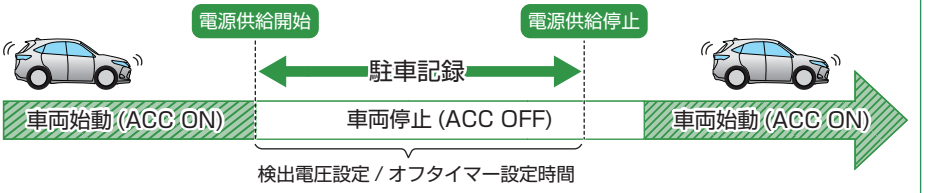
別売品(OP-VMU5L)から電源供給し、自動で駐車監視モード(タイムラプス/動体検知)へ移行して駐車記録(※1)を開始します。
※別売品(OP-VMU5L)の設定によっては電源OFFします。

B-2 車両を始動(ACC ON)する

別売品(OP-VMU5L)からの電源供給が継続している場合、駐車監視モード(タイムラプス/動体検知)から通常録画に切り替わり継続して録画を行います。
※別売品(OP-VMU5L)からの電源供給が停止している場合も通常の録画を開始します。

※1：駐車記録とは車両停止(ACC OFF)状態で駐車中に記録を行うこと。

■ 検出電圧/オフタイマーの動作



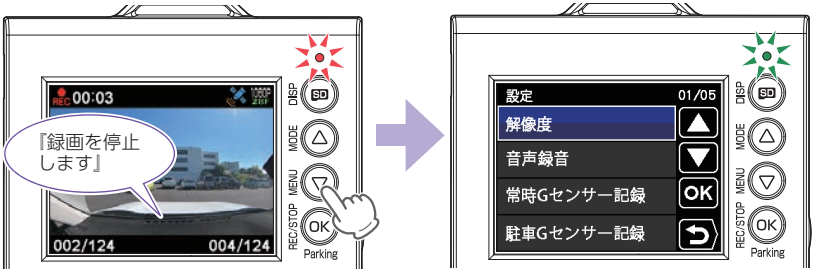
検出電圧設定、またはオフタイマー設定により駐車記録を停止します。(☛ P.40、45)
※マルチバッテリー(OP-MB4000)はオフタイマー設定のみになります
※強制的に駐車記録を停止する場合は、本体のDCジャックから電源コードを取り外してください。(☛ P.11)

設定メニューの表示方法

※駐車監視モード(タイムラプス/動体検知)中は、設定メニューを表示できません。OKボタンを3秒以上長押しして駐車監視モードを終了してください。

1. 設定メニューを表示する

1-1 動画記録モードで、▽ボタンを押す

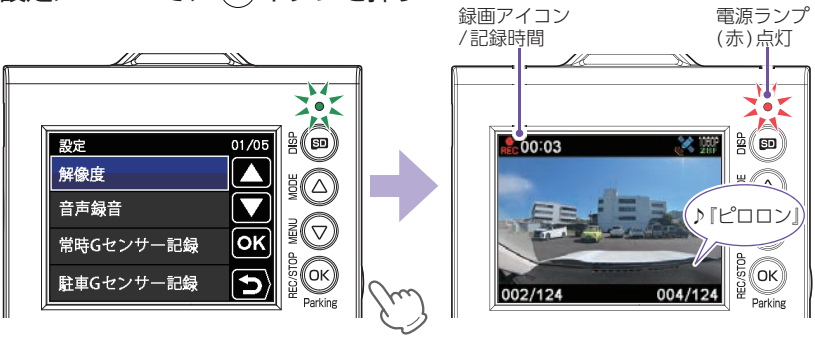


<設定メニュー>

録画を停止し、設定メニューを表示します。

2. 録画を再開する

2-1 設定メニューで、⚠ボタンを押す



動画記録モードを表示し、自動で録画を開始します。

設定メニュー

設定を確認または変更します。

※設定メニューの表示方法は ☛ P.53を参照ください。

＜01/05＞

＜02/05＞

★は初期値です。

項　目		設　定	説　明
01/05	解像度※1	1080P 28FPS(★)／720P 28FPS／1080P 14FPS／720P 14FPS	録画の解像度/フレームレート(録画コマ数)を選択します。 1080P：1920×1080 720P：1280×720 28FPS：1秒あたり28コマで録画します。 14FPS：1秒あたり14コマで録画します。
	音声録音	OFF／ON(★)	音声録音のON/OFFを設定します。 ※ 動画記録モードで▽ボタンを3秒以上長押しでも変更することができます。(☛ P.49)
	常時Gセンサー記録	OFF／ON(★)	常時(ACC ON)/駐車時(ACC OFF)のGセンサー記録を使用するかON/OFFで設定します。
	駐車Gセンサー記録	OFF／ON(★)	
02/05	常時Gセンサー感度	X：0.5～4.0G (1.0G★)	常時(ACC ON)/駐車時(ACC OFF)のGセンサー感度を設定します。 X(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)の衝撃感度を0.1Gステップで個別に設定します。感度は、数字が小さくなると「敏感」になり、数字が大きくなると「鈍感」になります。
		Y：0.5～4.0G (1.0G★)	
		Z：0.5～4.0G (1.0G★)	
	駐車Gセンサー感度	X：0.2～4.0G (0.5G★)	
		Y：0.2～4.0G (0.5G★)	
		Z：0.2～4.0G (0.5G★)	
	上書きモード	上書き禁止／常時録画上書き／全て上書き(★)	詳細は ☛ P.29「上書きモードについて」を参照ください。
	自動駐車モード切替※2	OFF(★)／ON	[ON]で車両停止(ACC OFF)時に自動で駐車監視モード(タイムラプス/動体検知)へ移行します。また、車両始動(ACC ON)で駐車監視モードを自動で終了します。

※1：変更後、SDカードのフォーマットが必要になります。フォーマットせずに動画記録モードへ戻ると「SDカードエラーです」とメッセージと音声でお知らせします。(☛ P.12)

※2：使用には別売品の駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5L)が必要になります。

＜03/05＞

＜04/05＞

＜05/05＞

★は初期値です。

項　目		設　定	説　明
03/05	駐車監視モード	動体検知／タイムラプス(★)	駐車監視のモードを選択します。 ※ 詳細は ☛ P.24「駐車記録について」を参照ください。
	動体検知感度	LOW(鈍感)／MID(★普通)／HIGH(敏感)	動体検知の感度を選択します。(☛ P.25)
	LCDフラッシュ	OFF(★)／ON	※ 詳細は ☛ P.28「警報機能」を参照ください。
	日時	－	日付や時刻を設定します。 ※ 手動で設定した場合でもGPSの日時情報が優先され、変更されます。
04/05	音量	OFF／20%／40%／60%(★)／80%／100%	本機の音量を選択します。 ※ 音量は操作音、音声、録画ファイルの再生音に反映されます。 ※ 音と音声を個別に設定することはできません。
	画面自動オフ	30秒後(★)／3分後／5分後／常時ON	録画開始から設定時間が経過すると、画面を自動的にOFFします。画面を表示させる場合はいずれかのボタンを押してください。 ※ 手動で画面OFFすることもできます。(☛ P.50)
	SD初期化	－	SDカードを初期化(フォーマット)します。 ※ 録画ファイル(保護ファイル含む)がすべて消去されます。
	設定初期化	－	本機をご購入時の設定に戻します。
05/05	バージョン	－	ファームウェアのバージョンを表示します。

■ 設定メニュー時のボタンの機能

ボタン	機　能	
SDボタン	使用しません。	
△ボタン	短押し	設定項目を選択したり、値を増加します。
▽ボタン	短押し	設定項目を選択したり、値を減少します。
OKボタン	短押し	選択項目を決定します。
⚠ボタン	短押し	前の画面へ戻ります。

SD初期化(フォーマット)

付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ず本機でフォーマットしてください。

※フォーマットを行うと、録画ファイル(保護ファイル含む)がすべて消去されます。必要に応じてパソコンなどにバックアップしてからフォーマットしてください。

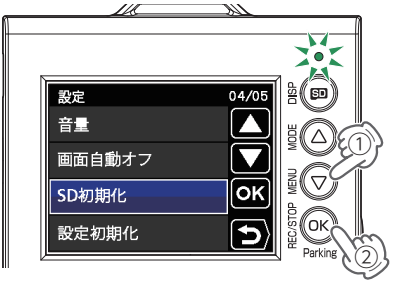
※SDボタンでフォーマットする方法は ☛ P.12を参照ください。

※SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。

※容量が大きいSDカードをフォーマットする場合、フォーマット完了までに数分間かかることがあります。あらかじめご了承ください。

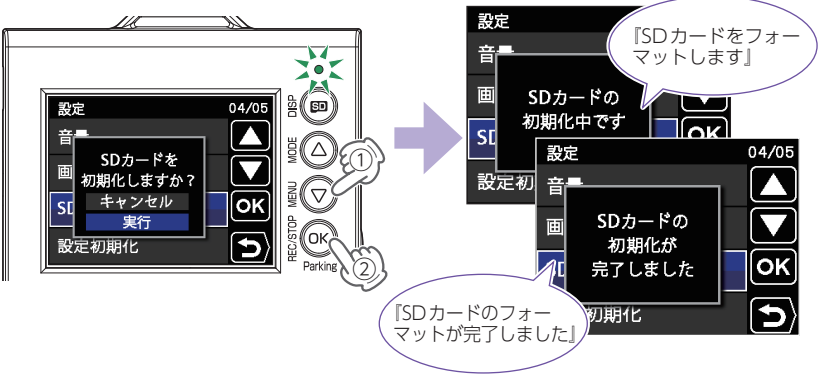
1. SDカードをフォーマットする

1-1 [SD初期化]を選択し、OKボタンを押す



・設定メニューの表示方法
(☛ P.53)

1-2 [実行]を選択し、OKボタンを押す



フォーマット完了後、「SDカードの初期化が完了しました」と数秒表示します。

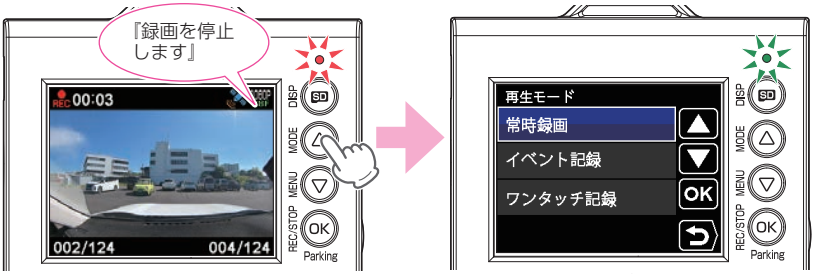
※フォーマットに失敗する場合は ☛ P.71を参照ください。

再生モードの表示・再生方法

※駐車監視モード(タイムラプス/動体検知)中は、再生モードは表示できません。OKボタンを3秒以上長押しして駐車監視モードを終了してください。

1. 再生モードを表示する

1-1 動画記録モードで、△ボタンを押す



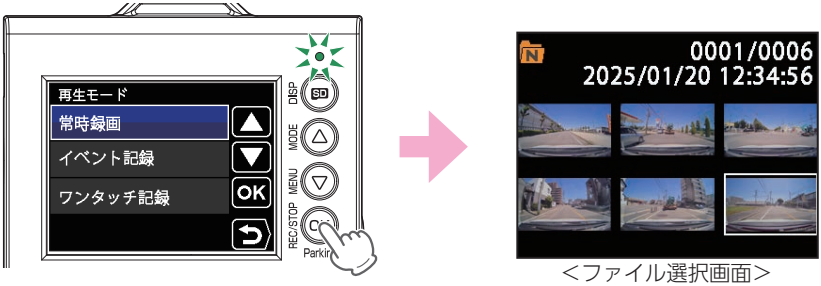
<フォルダ選択画面>

録画を停止し、再生モードを表示します。

※常時録画(通常録画/タイムラプス/動体検知)、イベント記録(Gセンサー記録)、ワンタッチ記録(ワンタッチ記録)

2. 本機で録画ファイルを再生する

2-1 フォルダを選択し、OKボタンを押す



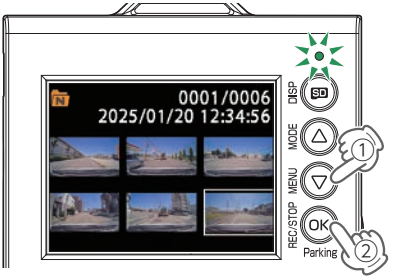
<ファイル選択画面>

ファイル選択画面を表示します。

※ファイルがない場合、ファイル選択画面上に「ファイルがありません」と表示します。
⚠ボタンを押すと前の画面に戻ります。

再生できないファイルがある場合、空欄になります。

2-2 録画ファイルを選択し、OK ボタンを押す



ファイル再生画面を表示します。

2-3 OK ボタンを押す

録画ファイルを再生します。
録画ファイルが複数ある場合は、連続して再生します。
※音量が[OFF]の場合、音声は鳴りません。(☛ P.55)

3. 再生中の録画ファイルを一時停止する(操作メニューを表示する)

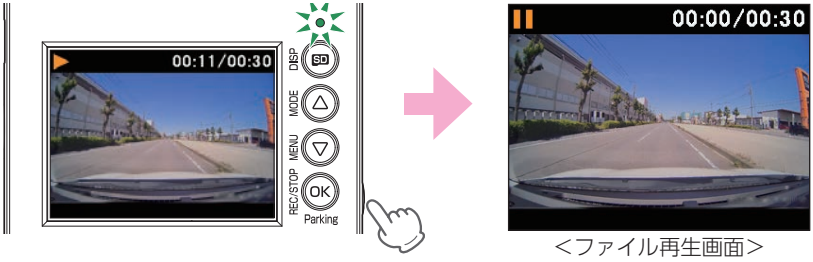
3-1 再生中に、OK ボタンを押す

再生を一時停止し、操作メニューを表示します。
再生を再開する場合は、もう一度 OK ボタンを押してください。

4. 録画を再開する

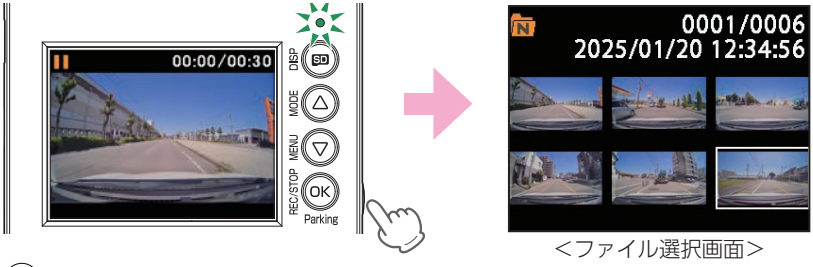
再生後は、下記の手順で録画を再開します。

4-1 再生中に、⚠ボタンを押す



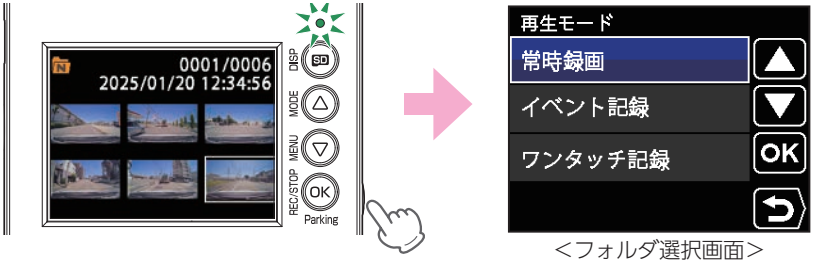
<ファイル再生画面>

4-2 ⚠ボタンを押す



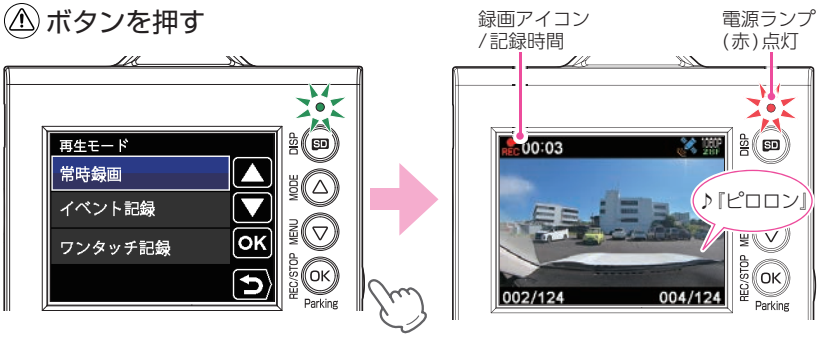
<ファイル選択画面>

4-3 ⚠ボタンを押す



<フォルダ選択画面>

4-4 ⚠ボタンを押す



動画記録モードを表示し、自動で録画を開始します。

再生モード

※再生モードの表示方法は ☛ P.57 を参照ください。

<ファイル選択画面>

<ファイル再生画面>

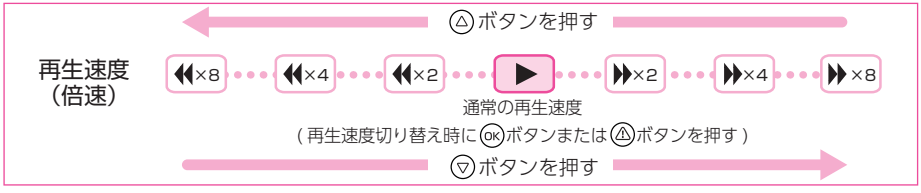
<保護>
☛ P.62

<消去>
☛ P.63

No.	表示名	説　明
①	フォルダアイコン	N：常時録画フォルダ(通常録画/タイムラプス/動体検知)を選択中に表示します。 E：イベント記録/ワンタッチ記録フォルダ(Gセンサー記録/ワンタッチ記録)を選択中に表示します。
②	選択中のファイル	選択中の録画ファイルを白色枠で表示します。
③	記録日時	録画した日時を表示します。
④	ファイル数	現在のファイル/総ファイル数を表示します。
⑤	ファイル保護アイコン	保護した録画ファイル上に表示します。(☛ P.62)
⑥	動作アイコン	動作の状態をアイコンで表示します。
		▶：再生中に表示します。▶▶：早送り中に表示します。 ◀◀：早戻し中に表示します。❚❚：一時停止中に表示します。 X8 X4 X2：8/4/2倍速の早送り・早戻し中に表示します。
⑦	記録映像	録画ファイルを再生します。
⑧	再生時間	現在の再生時間/ファイル総時間を表示します。
⑨	操作メニュー	録画ファイルの保護/保護解除、消去などを行います。(☛ P.62) ※操作メニューは一時停止中のみ表示します。

■ 再生速度の切り替え

ファイル再生画面を表示すると、通常の再生速度(×1倍速)で再生されます。
△ボタンと▽ボタンを押すことで再生速度を切り替えます。
再生速度切り替え時に、OKボタンまたは△ボタンを押すと通常の再生速度に戻ります。



※▶▶は早送り、◀◀は早戻し、▶は通常の再生です。
※早送り、早戻し中は音声が再生されません。

■ 再生モード時のボタンの機能

ボタン	動　作		機　能
SD ボタン	―		使用しません。
△ ボタン	選択時	短押し	前の録画ファイルを選択します。
	再生時	短押し	再生速度を切り替えます。
▽ ボタン	選択時	短押し	次の録画ファイルを選択します。
	再生時	短押し	再生速度を切り替えます。
OK ボタン	選択時	短押し	ファイル再生画面を表示します。
	再生時	短押し	再生/一時停止します。 再生に押すと一時停止し、操作メニューを表示します。 再生速度切り替え時に押すと、通常の再生速度に戻ります。
⚠ ボタン	選択時	短押し	前の画面へ戻ります。
	再生時	短押し	再生中に押すと停止します。もう一度押すと前の画面へ戻ります。 一時停止中に押すと再生します。 再生速度切り替え時に押すと、通常の再生速度に戻ります。

■ 操作メニュー

ボタン		機　能		
―	SD ボタン	使用しません。		
	△ ボタン	保護	短押し	録画ファイルを保護します。(☛ P.62)
		保護解除	短押し	録画ファイルを保護解除します。(☛ P.62)
	▽ ボタン	個別消去	短押し	録画ファイルを個別消去します。(☛ P.63)
		すべて消去	短押し	フォルダ内の録画ファイル(保護ファイル除く)をすべて消去します。(☛ P.63)
OK	OK ボタン	決定	短押し	選択項目を決定します。
	⚠ ボタン	戻る	短押し	前の画面に戻ります。

録画ファイルの保護/保護解除・消去について

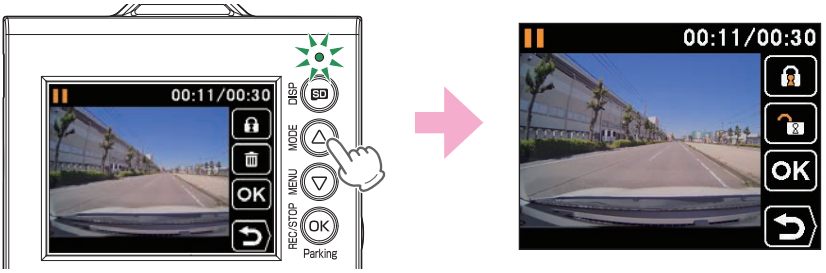
録画ファイルは下記の手順で保護/保護解除、または消去することができます。
保護した録画ファイルは、フォーマット以外の操作では消去されません。

※保護した録画ファイルを消去する場合は、ファイルの保護を解除してから消去するか、フォーマットすることで消去できます。フォーマットを行うと、録画ファイル(保護ファイル含む)はすべて消去します。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。
※初期値では、録画ファイル(保護ファイル除く)は各記録方法の上限に達すると上書きされます。(初期値[上書きモード:全て上書き])

1. 録画ファイルを保護/保護解除する

1-1 保護または保護解除したい録画ファイルを選択し、操作メニューを表示する(☛ P.57、58)

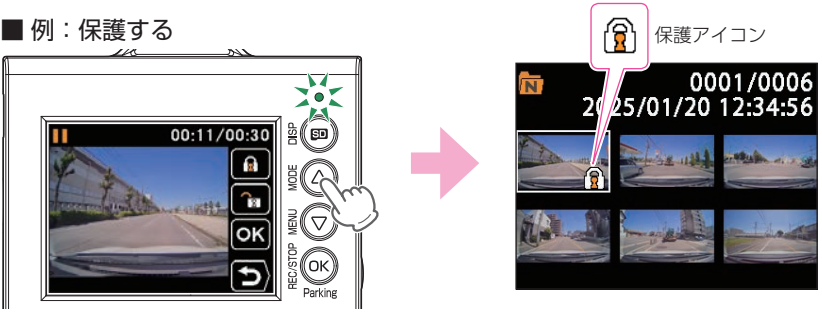
1-2 △ボタンを押す



選択中の録画ファイルを「保護」/「保護解除」を選択できます。

1-3 保護する場合は△ボタン、保護解除する場合は▽ボタンを押す

■ 例:保護する



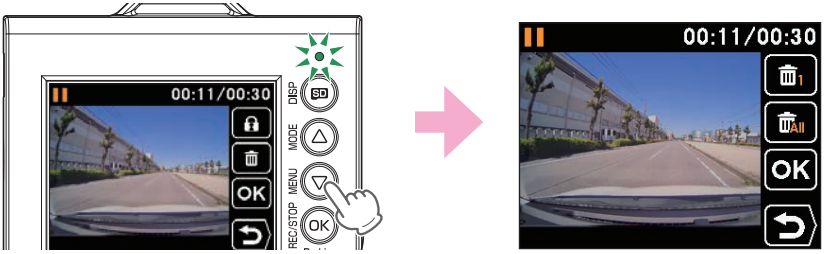
完了するとファイル選択画面へ戻ります。

※保護したファイルには保護アイコンを表示します。
※保護したファイルは上書きされないため、上書きする場合は保護を解除してください。

2. 録画ファイルを消去する

2-1 消去したい録画ファイルを選択し、操作メニューを表示する
(☛ P.57、58)

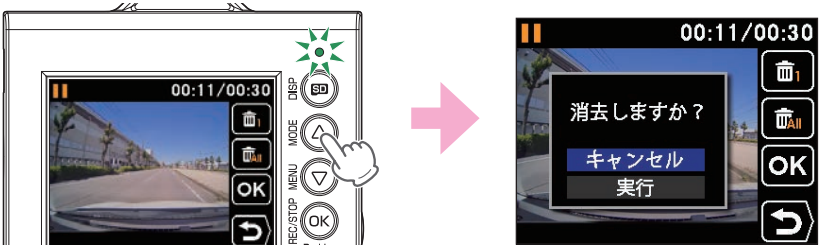
2-2 ▽ ボタンを押す



選択中の録画ファイルを[個別消去]/[すべて消去]を選択できます。

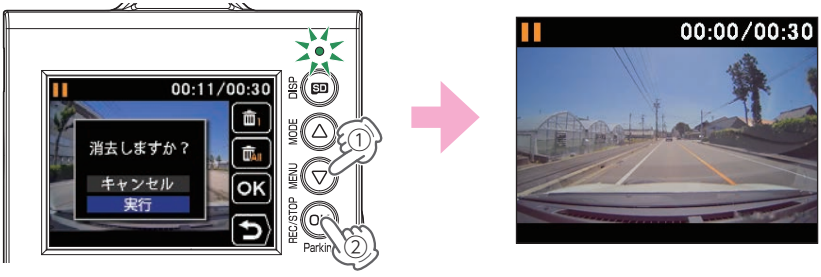
2-3 表示ファイルを消去する場合は △ ボタン、フォルダ内すべてのファイルを消去する場合は ▽ ボタンを押す

■ 例：個別消去する



2-4 [実行]を選択し、 OK ボタンを押す

■ 例：個別消去する



[個別消去]が完了すると次の録画ファイル再生画面を表示します。
[すべて消去]が完了すると、「ファイルがありません」と表示します。
⚠ ボタンを押して前の画面に戻ってください。

専用ビューアソフトで再生する

本機で録画した映像は、パソコンに専用ビューアソフト「PCViewer TypeN」をインストールすることにより、Googleマップと連動させて表示することができます。

1. 準備する

弊社ホームページより専用ビューアソフトをダウンロードし、インストールを行ってください。(https://www.yupiteru.co.jp/download/update/dry_type_n.html)
下記の仕様を満たしたパソコンで再生できます。

OS	Microsoft Windows 11、10
CPU	Intel Core i3相当、2.7GHz以上
RAM	4GB 以上

(2025年1月現在)

※対応OSや動作環境に関する最新情報は、弊社ホームページをご確認ください。
※推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
※CPU性能やRAMの状態、他アプリケーションの同時作動等の環境の起因によって動画再生のコマ落ち等の不具合が起こる場合があります。
※誤って専用ビューアソフトを削除した場合、またはOSやシステムのアップデートにより正常に動作しなくなった場合は、弊社ホームページより最新の専用ビューアソフトをダウンロードしてください。
※WindowsのアップデートやGoogleマップの仕様変更などにより、専用ビューアソフトで地図が表示できないなど、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

2. 専用ビューアソフトを起動する

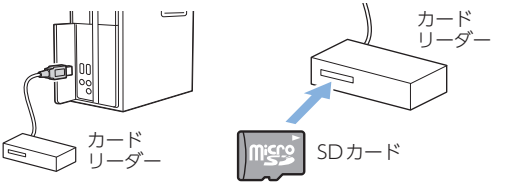
2-1 [PCViewer TypeN]アイコンをダブルクリックする

専用ビューアソフトが起動します。

・専用ビューアソフトの詳細は…
☛ P.66

3. 録画ファイルを再生する

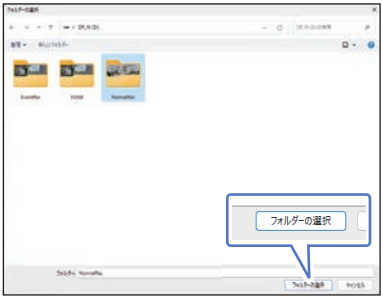
3-1 カードリーダーをパソコンに接続し、SDカードをカードリーダーに接続する



※SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、カードリーダーを接続する必要はありません。

3-2 (フォルダを選択)をクリックする

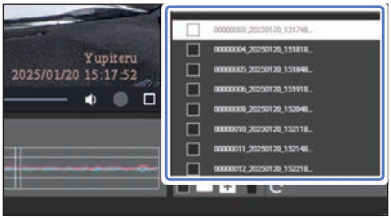
3-3 接続したSDカードのフォルダを選択し、[フォルダーの選択]をクリックする



・フォルダ名について
☛ P.69

選択したフォルダの録画ファイルを読み込みます。

3-4 録画ファイルをダブルクリックする



選択した録画ファイルを再生します。

4. 専用ビューアソフトを終了する

4-1 専用ビューアソフト右上の　をクリックする

専用ビューアソフトが終了します。

専用ビューアソフト

専用ビューアソフトでは、映像の再生や自車位置、Ｇセンサーグラフ等を表示できます。

※自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

1. 専用ビューアソフトの画面について

＜標準表示（フロントカメラ）＞

＜全画面表示（フロントカメラ）＞

No.	表示名	説　明		
①	ソフトウェア名称	専用ビューアソフトの名称を表示します。		
②	ファイル コントロール	▶/⏸	再生 /一時停止	録画ファイルを再生/一時停止します。 ※ 再生リストに複数の録画ファイルがある場合、連続して再生します。 ※ 再生画面をクリックでも再生/一時停止できます。
		◀	前フレーム	クリック毎に1フレーム前の映像を表示します。
		📷	静止画保存	再生中、一時停止中の映像から静止画(JPEGファイル)に変換して保存します。
		▶	次のフレーム	クリック毎に1フレーム後の映像を表示します。
		⏮	前のファイル	前の録画ファイルを再生します。
		⏭	次のファイル	次の録画ファイルを再生します。
		⏪	再生速度を 下げる	クリック毎に早戻し速度が変化します。 (1.0 ～ 0.3倍速)
		⏩	再生速度を 上げる	クリック毎に早送り速度が変化します。 (1.0 ～ 4.0倍速)
③	Gセンサーグラフ	録画ファイルに埋め込まれているGセンサーデータをX軸、Y軸、Z軸でグラフ表示します。		
④	バージョン情報	専用ビューアソフトのバージョンを表示します。		
⑤	再生時間	再生中の現在時間/全体時間を表示します。		
⑥	タイムライン	クリック位置から再生できます		
⑦	音量	アイコンクリックでミュートON/OFFできます。 アイコンにカーソルを合わせると音量バーが表示され、左右操作で音量を調整できます。		
⑧	ー	本機では使用しません。		
⑨	全画面表示	全画面表示になります。		
⑩	記録日時	記録した日時を表示します。		
⑪	メニュー	■	全て選択	すべてのファイルにチェックを入れます。 ※ ファイルを個別に選択する場合は、ファイル名の左側チェックボックスをクリックしてください。
		📁	フォルダを 選択	フォルダ内のファイルを再生リストに追加します。
		＋	ファイルを 選択	1ファイルを再生リストに追加します。
		🗑	削除	チェックが入った録画ファイルを再生リストから削除します。
		C	全てループ	ループ(繰り返し)の動作を切り替えます。 C：再生リストループ再生します。 G：1ファイルをループ再生します。 ■：再生リスト最後の録画ファイルを再生後、停止します。
		G	1ファイル ループ	
		■	ループしない	

<table>
<tr><th>No.</th><th>表示名</th><th colspan="3">説　明</th></tr>
<tr><td>⑫</td><td>再生リスト</td><td colspan="3">録画ファイルの録画終了日時(年月日と時分秒)を表示します。
※ ファイル名の詳細は ☛ P.69を参照ください。</td></tr>
<tr><td>⑬</td><td>緯度経度</td><td colspan="3">GPSで記録した緯度経度を表示します。
※ GPSデータがない場合は変化しません。</td></tr>
<tr><td>⑭</td><td>走行速度</td><td colspan="3">GPSで記録した走行速度を表示します。
※ GPSデータがない場合は変化しません。</td></tr>
<tr><td>⑮</td><td>標高</td><td colspan="3">GPSで記録した標高を表示します。(単位：メートル(m))
※ GPSデータがない場合は変化しません。</td></tr>
<tr><td>⑯</td><td>地図</td><td colspan="3">読み込まれた映像はGoogleマップに連動して自車位置が移動します。
※ インターネットに接続されていないと、地図(Googleマップ)は表示されません。</td></tr>
<tr><td>⑰</td><td>再生速度</td><td colspan="3">再生速度を表示します。(0.3 ～ 4.0 x)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">⑱</td><td rowspan="3">プログラム</td><td>－</td><td>最小化</td><td>ウィンドウを最小化します。</td></tr>
<tr><td>□</td><td>最大化
/元に戻す</td><td>ウィンドウを最大化/元に戻します。</td></tr>
<tr><td>×</td><td>閉じる</td><td>ソフトウェアを終了します。</td></tr>
</table>

録画ファイルの読み出しについて

本機で録画した映像は、通常のファイルと同じようにパソコンで扱うことができます。下記の仕様を満たしたパソコンで再生することができます。

OS	Microsoft Windows 11、10
CPU	Intel Core i3、2.7GHz以上
RAM	4GB 以上

（2025年1月現在）

※CPU性能、RAMの状態、他アプリケーションの同時作動等、環境の起因によって動画再生のコマ落ち等の不具合が起こる場合があります。
※対応OSや動作環境に関する最新情報は、ホームページをご確認ください。
※本体とパソコンを、直接USBケーブルなどで接続しないでください。本体からSDカードを取り出して、SDカードをパソコンと接続してください。
※推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
※再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
※CPUやRAMが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。

■ フォルダ構造について

各ファイルは、下記のフォルダ構造で保存されています。

SDカード
- NormalRec ― 00000000_20250120_123456.mp4
- EventRec ― 00000001_20250120_123456_mp4
- EVSW ― 00000002_20250120_123456_mp4

フォルダ種類	記録方法
NormalRec（常時録画）	通常録画、タイムラプス、動体検知
EventRec（イベント記録）	Gセンサー記録
EVSW（ワンタッチ記録）	ワンタッチ記録

■ ファイル名について

ファイル番号は、記録した順に本機で自動設定されます。

例　00000000 _ 20250120 _ 123456 . mp4
①　②　③　④

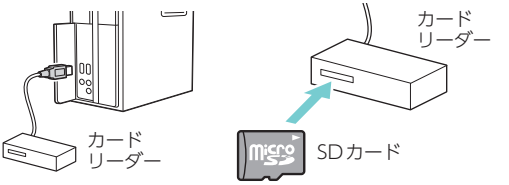
①ファイル番号
②記録日（年月日）
③記録時間（時分秒）
④動画形式

1. 専用ビューアソフトを使用せずに録画ファイルを再生する

⚠ 注 意

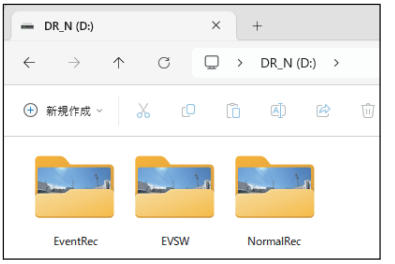
パソコンではファイル再生やバックアップ以外の操作をしないでください。SDカード内のデータの書き換え/消去などを行った場合、本機が正常に動作しないことがあります。

1-1 カードリーダーをパソコンに接続し、SDカードをカードリーダーに接続する



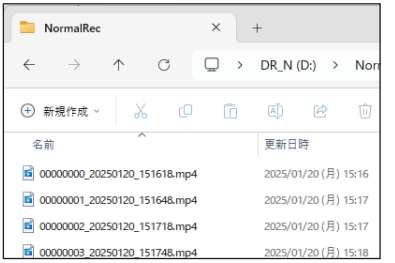
※SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、SDカードリーダーライターを接続する必要はありません。

1-2 SDカードを開き、再生したいファイルがあるフォルダを開く



・フォルダ名について
☛ P.69

1-3 録画ファイルをダブルクリックする



Windows標準の「映画＆テレビ」で再生することができます。

こんなときは

本機に異常などがあった場合に音声とメッセージでお知らせします。
メッセージを解除する場合は、いずれかのボタンを押してください。

※音量[OFF]では、音声によるお知らせをしません。あらかじめご了承ください。

メッセージ	対処方法
SDカードを 挿入してください	□ SDカードが挿入されていますか、または正しく挿入されていますか。(☛ P.18) ※ 電源ON中にSDカードの抜き差しを行った場合、自動で再起動します。
SDカードエラー	□ 本機に対応したSDカードかご確認ください。 ・記録媒体：microSDHCカード/microSDXCカード ・容量：16GB ～ 128GB ・SDスピードクラス：Class10以上 □ SDカードが正しく挿入されていますか。(☛ P.18) ※ 電源ON中にSDカードの抜き差しを行った場合、自動で再起動します。 □ SDカードをフォーマットしてください。 フォーマットを行うと、保護したファイルもすべて消去されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。(☛ P.12、56) また、フォーマット後も頻繁にメッセージが表示される場合は、新しいSDカードに交換してください。
SDカードを 読み込めません	
対応していない SDカードです	□ 本機に対応したSDカードかご確認ください。 ・記録媒体：microSDHCカード/microSDXCカード ・容量：16GB ～ 128GB ・SDスピードクラス：Class10以上
SDカードの 初期化に 失敗しました	□ 本機に対応したSDカードかご確認ください。 ・記録媒体：microSDHCカード/microSDXCカード ・容量：16GB ～ 128GB ・SDスピードクラス：Class10以上 □ SDカードが正しく挿入されていますか。(☛ P.18) ※ 電源ON中にSDカードの抜き差しを行った場合、自動で再起動します。 □ 他の機器で認識することができるかご確認ください。 本機からSDカードを取り外し、パソコンなどの機器に接続して、SDカードが認識できるか確認してください。

メッセージ	対処方法
SDカードが いっぱいです	□ 上書きモードが[上書き禁止]になっていませんか。 上書きモードを[上書き禁止]に設定した場合、常時録画がSDカード容量の上限に達すると、録画を停止します。(☛ P.54) □ 保護したファイルでSDカードがいっぱいになっていませんか。 保護したファイルは上書きできません。保護を解除(☛ P.62)するか、SDカードをフォーマット(☛ P.12、56)することで保護したファイルもすべて消去することができます。保護したファイルには、ファイル選択画面上で保護アイコン( )を表示します。(☛ P.60) □ SDカードをフォーマットしてください。 フォーマットを行うと、保護したファイルもすべて消去されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。(☛ P.12、56)
Gセンサー領域が いっぱいです	□ 上書きモードが[上書き禁止]または[常時録画上書き]になっていませんか。 上書きモードを[上書き禁止]または[常時録画上書き]に設定した場合、イベント記録が最大記録件数に達すると、イベント記録を停止します。(☛ P.54)
ワンタッチ領域が いっぱいです	□ 保護したファイルで最大記録件数に達していませんか。 保護したファイルは上書きできません。保護を解除(☛ P.62)するか、SDカードをフォーマット(☛ P.12、56)することで保護したファイルもすべて消去することができます。保護したファイルには、ファイル選択画面上で保護アイコン( )アイコンを表示します。(☛ P.60) □ SDカードをフォーマットしてください。 フォーマットを行うと、保護したファイルもすべて消去されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。(☛ P.12、56)
ファイル 保護されています 消去できません	□ 保護を解除してから消去してください。(☛ P.62) □ SDカードをフォーマットしてください。 フォーマットを行うと、保護したファイルも全て削除されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。(☛ P.12、56)
周囲が高温のため 画面をオフします	□ 周囲が高温のとき、液晶ディスプレイを「オフ」します。周囲の温度が下がると液晶ディスプレイは「オン」になります。 画面自動オフ設定が[常時ON]以外に設定されている場合は周囲の温度が下がっても液晶ディスプレイは「オフ」のままになります。

故障かな？と思ったら

電源がONにならない

□ 電源コードが外れていませんか。

□ 電源内部のヒューズが切れていないか確認してください。（☛ P.31）

電源はONになるが本体が起動しない/画面が表示されない

□ リセットボタンを押して再起動してください。（☛ P.15）

□ 画面自動オフ機能が作動していませんか。（☛ P.55）
いずれかのボタンを押して画面を表示してください。

映像が記録できない

□ SDカードが正しく挿入されていますか。（☛ P.18）

□ 保護したファイルでSDカードがいっぱいになっていませんか。
保護したファイルは、上書きできません。保護を解除（☛ P.62）するか、SDカードをフォーマット（☛ P.12、56）することで保護したファイルもすべて消去することができます。保護したファイルには、ファイル選択画面上で保護アイコン（ ）を表示します。（☛ P.60）

□ 本機の動作温度範囲を超えている場合、動作を停止します。周囲の温度が下がってからご使用ください。

車両停止（ACC OFF）しても本体電源がOFFにならない

□ シガーライターソケットに常時電源が供給される車両で使用していませんか。
付属のシガープラグコードを上記車種で使用する場合、ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。

□ 別売品のマルチバッテリーまたは駐車監視用 電源直結コードを接続していませんか。
設定によっては車両停止（ACC OFF）後も本体に電源を供給するため本体電源はOFFになりません。強制的に電源OFFする場合は、電源コードを取り外してください。（☛ P.11）

録画ファイルがない

□ 上書きされていませんか。
初期値では上書きモード［全て上書き］のため上限に達すると上書きされます。（☛ P.29）

□ 各専用フォルダをご確認ください。（☛ P.57、69）

音声によるお知らせをしない

□ 音量［OFF］になっていませんか。
音量［OFF］では音声や音によるお知らせをしません。音量をご確認ください。（☛ P.55）

イベント記録ファイルがない

□ イベント記録中に電源OFFしていませんか。
イベント記録中に電源OFFした場合は、見えないファイルや壊れた状態のファイルとなる場合があります。

□ 事故発生時の衝撃が弱くありませんでしたか。
事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。その際は、常時録画の映像をご確認ください。(☛ P.21「常時録画(通常録画)」)

再生時に音声が出ない

□ タイムラプスで録画していませんか。
タイムラプスで録画した場合、音声は録音されません。

□ 音声録音はONになっていますか。(☛ P.49、54)

駐車記録できない

<マルチバッテリー(OP-MB4000)>

□ 電源コネクターは接続されていますか。(☛ P.40)

□ オフタイマー設定が[使用しない]、またはディップスイッチ4がOFFになっていませんか。(☛ P.40)
上記の設定では車両停止(ACC OFF)後の本機への電源供給が行われません。

<駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5L)>

□ 駐車記録スイッチはONになっていますか。(☛ P.46)

□ オフタイマー設定が[OFF]になっていませんか。(☛ P.45)
オフタイマー設定が[OFF]になっていると、車両停止(ACC OFF)後の本機への電源供給が行われません。

□ 車両停止(ACC OFF)時の車両バッテリー電圧が検出電圧設定以下になっていませんか。
検出電圧設定以下では電源供給は行われません。検出電圧設定を変更してください。(☛ P.45)

□ 自動駐車モード切替は[ON]になっていますか。(☛ P.54)

勝手に駐車監視モード(タイムラプス/動体検知)になってしまう

□ 電源コードのコネクターを奥まで挿し込んでいますか。
コネクターを奥まで挿し込んでいない場合、駐車監視モード(タイムラプス/動体検知)へ移行することがあります。奥まで挿し込まれているかご確認ください。(☛ P.36、37、41、44)

専用ビューアソフトで地図や走行速度、加速度が表示されない

□ インターネットに接続されていますか。
インターネットに接続されていない場合、地図(Googleマップ)は表示されません。

□ GPS測位していましたか。
録画ファイルにGPSデータがない場合、地図(Googleマップ)は表示されません。

□ タイムラプスで録画していませんか。
タイムラプスで録画した場合、GPSデータを記録しないため、地図(Googleマップ)は表示されません。

仕 様

外形寸法 （突起部除く）	65（幅）× 54（高さ）× 27（奥行）mm ※ 取付ブラケット（テープ貼付）装着時86（高さ）mm（窓ガラス25°想定の場合）
本体重量	約83g（microSDカード含む）
記録媒体	microSDカード（32GB付属）　16GB ～ 128GB（Class10以上）
撮影素子	200万画素カラー CMOS（STARVIS™ 技術搭載※2）
最大記録画角※1	対角162°（水平135°、垂直72°）
記録解像度	最大200万画素
	1080P（1920 × 1080）／ 720P（1280 × 720）
F値	2.0
GPS	有
Gセンサー	有（感度設定可能）
HDR	有
最低被写体照度	0.5LUX（ルクス）
記録方式	常時録画／イベント記録（Gセンサー記録、ワンタッチ記録＜手動録画＞）／駐車記録（タイムラプス、動体検知、Gセンサー記録）※3
録画ファイル構成	30秒単位、7分単位※4、14分単位※4
画面サイズ	2.0インチ　フルカラー TFT液晶
音声	ON ／ OFF可能
フレームレート	28コマ/秒、14コマ/秒、1コマ/秒※4
映像ファイル形式	MP4
記録映像 再生方法	・専用ビューアソフト「PCViewer TypeN」（弊社ホームページよりダウンロードできます） ・Windows標準の「映画＆テレビ」※5
電源電圧	DC12Vマイナスアース車専用（5V入力）
消費電力	5W
動作温度範囲	－10℃ ～ ＋60℃
製品保証期間	1年（消耗品は除く）

※上記は、ドライブレコーダー協議会「表示ガイドライン」に基づく表記です。

※1：解像度により記録される視野角が変化します。
　　超広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。
※2：STARVIS（スタービス）は、監視カメラ用途CMOSイメージセンサ向けに開発された、高感度・高画質を実現するソニーグループ株式会社の裏面照射型画素技術です。
※3：駐車記録には別売品のマルチバッテリー（OP-MB4000）、または駐車監視用 電源直結コード（OP-VMU5L）が必要です。
※4：タイムラプス中のみ。
※5：Microsoft Windows 11、10に対応。

別売品：マルチバッテリー(OP-MB4000)	
入力電圧	DC12V（最大6A）
出力電圧	12V（1A）
オフタイマー設定時間	0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間
内蔵電池	ニッケル水素電池　12V/4,000mAh
動作温度範囲	0℃ ～ ＋45℃
外形寸法 (突起部除く)	144(幅)×33(高さ)×131(奥行)mm
本体重量	約950g（内蔵電池含む）

別売品：駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5L)	
入力電圧	DC12V/24V
出力電圧	5V(2A)
検出電圧設定値	12V車：11.6V/11.8V/12V/12.2V/12.4V/12.6V 24V車：23.6V/23.8V/24V/24.2V/24.4V/24.6V
オフタイマー設定時間	0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間
動作温度範囲	－10℃ ～ ＋60℃
外形寸法 (突起部除く)	53(幅)×67(高さ)×23(奥行)mm
本体重量	約222g(ケーブル含む)

・STARVISは、ソニーグループ株式会社の商標です。
・Google、Googleマップは、Google LLC の商標です。
・「Windows®」、「Microsoft®Windows®」は、Microsoft Corporationの、商標または登録商標です。
・「microSD™」は、SD Card Associationの商標または登録商標です。
・その他の各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

microSDカード対応一覧表

※本機と市販品のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ず本機でフォーマットしてください。フォーマットをしない場合、録画がうまくできない・録画可能時間が減少するなどの原因になります。
※SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。
※容量が大きいmicroSDカードを使用した場合、ファイル数の増加により本機の動作が遅くなることがあります。あらかじめご了承ください。

記録媒体	microSDHC / microSDXCカード
容量	16GB ～ 128GB
SDスピードクラス	Class 10以上

※スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

1. 録画時間の目安

SDカード容量	通常時			
	28コマ/秒：28FPS		14コマ/秒：14FPS	
	1080P(初期値)	720P	1080P	720P
128GB	約1,108分	約1,872分	約2,220分	約3,748分
64GB	約554分	約936分	約1,110分	約1,874分
32GB(付属品)	約277分	約468分	約555分	約937分
16GB	約138分	約234分	約277分	約468分

SDカード容量	タイムラプス			
	28コマ/秒：28FPS		14コマ/秒：14FPS	
	1080P(初期値)	720P	1080P	720P
128GB	約516時間	約872時間	約1,036時間	約1,748時間
64GB	約258時間	約436時間	約518時間	約874時間
32GB(付属品)	約129時間	約218時間	約259時間	約437時間
16GB	約64時間	約109時間	約129時間	約218時間

※ 上記値は目安で、絶対保証値ではありません。

2. イベント記録の最大記録件数

SDカード容量	28コマ/秒：28FPS		14コマ/秒：14FPS	
	1080P(初期値)	720P	1080P	720P
128GB	約880件	約1,488件	約1,776件	約2,992件
64GB	約440件	約744件	約888件	約1,496件
32GB(付属品)	約220件	約372件	約444件	約748件
16GB	約110件	約186件	約222件	約374件

※ 上記値は目安で、絶対保証値ではありません。
※ 最大記録件数は、Gセンサー記録とワンタッチ記録を合わせた件数です。
※ 1件につき1ファイル移動した場合。
※ SDカードによってファイル数が変化する場合があります。あらかじめご了承ください。